

VII. 研究業績

発 表 者	発 表 表 題 名	発表誌、巻(号)、頁	発表年月
阿部 真、櫃間 学	第114回日本林学会大会短信造林部門	林業技術(2003)、734:11-13	2003.05
阿部 真、石橋 聡、酒井 佳美、佐々木尚三、鷹尾 元、高橋 正義、山口 岳広	幾寅天然林における択伐施業の影響評価 - 2002年施業後の植生と光の変化	日本林学会北海道支部大会論文集(2004)、52:93-95	2003.02
Narukawa, Y. (生川 淑子)(名古屋大)、Iida, S. (飯田 滋生)、Tanouchi, H. (田内 裕之)、Abe, S. (阿部 真)、Yamamoto, S. (山本 進一)(名古屋大)	State of fallen logs and the occurrence of conifer seedlings and saplings in boreal and subalpine old-growth forest in Japan (日本の北方および亜高山帯成熟林における倒木の状態と針葉樹の稚樹と幼樹の発生)	Ecological Research、18: 267-277	2003.05
Niiyama, K. (新山 馨)、Kassim, A. R. (FRIM)、Iida, S. (飯田 滋生)、Kimura, K. (木村 勝彦)(福島大)、Ripin, A. (FRIM)、Appanah, S. (FRIM).	Regeneration of clear-cut plot in a lowland Dipterocarp forest in Pasoh Forest Reserve, Peninsular Malaysia (半島マレーシア、パソ保護林の低地フタバガキ林伐採区における更新)	Pasoh: Ecology of lowland rain forest in Southeast Asia、559-568	2003.04
Pinto, A. C. M. (INPA)、Tribuzy, E. S. (INPA)、Higuchi, N. (INPA)、Santos, J. (INPA)、Ribeiro, R. J. (INPA)、Rocha, R. M. (INPA)、Silva, R. P. (INPA)、Iida S. (飯田 滋生)	Spatial distribution patterns of tree species in the Manaus, AM region (アマゾナス州マナウスにおける樹木の空間分布パターン)	Projeto Jacaranda Fase II: Pesquisas Florestais na Amazonia Central、1-20	2003.07
Higuchi, N. (INPA)、Chambers, J. Q. (INPA)、Silva, R. P. (INPA)、Miranda, E. V. (INPA)、Santos, J. (INPA)、Iida, S. (飯田 滋生)、Pinto, A. C. M. (INPA)、Rocha, R. M. (INPA)、Souza, C. A. S. (INPA)	The use of metal bands and automated dendrometers to define the individual growth patterns of the principal tree species in the Manaus region, Amazonas, Brazil (ブラジルアマゾンのマナウス地域における金属バンドと自動デンドロメータを用いた主要樹種の生長パターンの解明)	Projeto Jacaranda Fase II: Pesquisas Florestais na Amazonia Central、55-68	2003.07
Barbosa, A. P. (INPA)、Iida, S. (飯田 滋生)、Vieira, G. (INPA)、Sampaio, P. T. B. (INPA)、Oliveira, L. A. (INPA)、Campos, M. A. A. (INPA)、Pinto, A. M. (INPA)、Spironello, W. R. (INPA)、Goncalves, C. B. Q. (INPA)、Almeida, M. J. B. (INPA)、Neves, T. S. (INPA)、Cortes, A.	Tropical silviculture and the rehabilitation of degraded areas after shift cultivation in Central Amazon (中央アマゾンにおける耕作放棄地の熱帯造林と回復)	Projeto Jacaranda Fase II: Pesquisas Florestais na Amazonia Central、22 3-239	2003.07
Iida, S. (飯田 滋生)、Pinto, A. C. M. (INPA)、Kushima, H. (九島 宏道)、Yagihashi, T. (八木橋 勉)、Tanaouchi, H. (田内 裕之)、Nakamura, S. (中村 松三)、Saotoh, S. (齊藤 哲)	Analysis of natural regeneration and spatial distribution of main tree species Manaus region, AM. (アマゾナス州、マナウス地域における主要樹種の天然更新と空間分布)	Abstracts of Brazil-Japan Seminar "Silvicultural and Ecological Research on Rehabilitation of Degraded Area in Amazon, Brazil." (INPA-JICA)、4	2003.07
Barbosa, A. P. (INPA)、Iida, S. (飯田 滋生)、Vieira, G. (INPA)、Sampaio, P. T. B. (INPA)、Oliveira, L. A. (INPA)、Spironello, W. R. (INPA)、Goncalves, C. B. Q. (INPA)、Neves, T. S. (INPA)	Metodos silviculturais para recuperacao de areas de gradadas na Amazonia Central.	Abstracts of Brazil-Japan Seminar "Silvicultural and Ecological Research on Rehabilitation of Degraded Area in Amazon, Brazil." (INPA-JICA)、16	2003.07
柴田 鏡江、田中 浩、飯田 滋生、阿部 真、正木 隆(農林水産技術会議)、新山 馨、中静 透(地球研)	群集レベルのマスティングの生態的意義	第35回種生物学会シンポジウム講演要旨、14-16	2003.12
今川 一志	元気な森の作り方	(財)日本緑化センター	2004.01
猪瀬 光雄	アカシア・マンギウム(マレーシア・サバ州)の幹材積	北方林業、55(11):9-12	2003.11
猪瀬 光雄	北海道の森林の役割	厚別区高齢者教室瑞穂大学環境講座テキスト(平成15年度)、1-32	2003.10
Mitsuo INOSE (猪瀬 光雄)	Summary of Research at the Hokkaido Research Center of the Forestry and Forest Product Research Institute (森林総合研究所北海道支所の研究概要)	Japan International Cooperation Agency Hokkaido International Center、1-18	2003.10
猪瀬 光雄、石橋 聡、鷹尾 元、高橋 正義	カラマツ人工林の上層樹高の推移	日本林学会北海道支部論文集、52: 151-153	2004.02

発 表 者	発 表 表 題 名	発表誌、巻(号)、頁	発表年月
石塚 成宏、阪田 匡司、高橋 正通、 稲垣 善之、溝口 岳男、澤田 智志 (秋田森林技セ)、芦谷大太郎(北大)、 五十嵐正徳(福島林試)、馬田 英隆 (鹿児島大)、金澤 洋一(神戸大)、 漢那 賢作(沖縄林試)、小山 泰弘 (長野林総セ)、鈴木 祥仁(愛知林 セ)、寺澤 和彦(北海道林試)、豊田 信行(愛媛林試)、橋本 哲(島 根大)、室 雅道(大分林試)、安田 洋(富山林技セ)、山本 博一(東 大)	森林伐採が土壌からの温室効果ガスフラッ クスに与える影響について	土壌肥料学会講演要旨集、49:186	2003.08
石塚 成宏、田中 永晴、阪田 匡司、 高橋 正通	土も呼吸する ～森林土壌からの CO ₂ 放出 ～	平成14年度北海道支所年報、88-9 0	2004.03
石塚 成宏、中島 泰弘(農環研)、 米村正一郎(農環研)、鶴田 治雄(東 京農工大)、イスワンディアナス(ボ ゴール農科大)、ダニエルムルディヤ ルソー(ボゴール農科大)	インドネシア・スマトラ島における森林土 壌 CO ₂ フラックスの空間依存性	平成14年度北海道支所年報、88-9 0	2004.03
石塚 成宏、田中 永晴、酒井 佳美、 酒井 寿夫	羊が丘実験林の平均的土壌呼吸量算出の試 み	S1・RR2002プロジェクト合同研 究発表会合同報告会	2003.11
石塚 成宏、阪田 匡司、高橋 正通、 田中 永晴	森林土壌における温室効果ガス発生・吸収 の実態	森林総合研究所北海道支所研究レ ポート、74:1-4	2004.02
寺澤 和彦(北海道林試)、石塚 成 宏、阪田 匡司、高橋 正通	北海道中央部の人工林5林分におけるメタ ン・亜酸化窒素の吸収・放出(予報)	第2回生物地球化学研究会シンポ ジウム	2003.07
仁科 一哉(名大)、竹中 千里(名 大)、石塚 成宏、手塚 修文(名大)	広葉樹林3地点におけるメタン吸収量と土 壌因子の関係	土壌肥料学会講演要旨集、49:187	2003.08
阪田 匡司、石塚 成宏、高橋 正通、 赤間 亮夫	室内培養法による根呼吸および土壌微生物 呼吸測定	土壌肥料学会講演要旨集、49:7	2003.08
阪田 匡司、石塚 成宏、野口享太郎、 高橋 正通、関子光太郎(富山県林試)	ヒノキ林床面の温室効果ガスフラックスの 空間分布	日本林学会関東支部大会講演要旨 集、55:33	2003.09
稲垣 善之、石塚 成宏、阪田 匡司、 高橋 正通、深田 英久	間伐がヒノキ林土壌の CO ₂ 発生量および CH ₄ 吸収量に及ぼす影響	日本林学会関西支部研究発表要旨 集、25	2003.11
Tamai, Nobuaki(玉井 伸明)(名大)、 Takenaka, Chisato(竹中 千里)(名大)、 Ishizuka, Shigehiro(石塚 成宏)、 Tezuka, Takafumi(手塚 修文)(名大)	Methane flux and regulatory variables in soils of three equal-aged Japanese cypress (<i>Chamaecyparis obtusa</i>) forests in central Japan (日本中部のスギ人工林土壌にお けるメタンフラックスとその制御要因)	Soil Biology and Biochemistry、35: 633-641	2003.05
石橋 聡、鷹尾 元、高橋 正義、 猪瀬 光雄、梅木 清(北海道立林 業試験場)、小山 浩正(山形大学)、 清和 研二(東北大学)	長伐期化に対応したカラマツ人工林収穫予 想表の作成	日本林学会北海道支部論文集、52: 148-150	2004.02
石橋 聡	透明かつ検証可能な手法による吸収源の評 価に関する研究(平成12～16年度)	北方林業、55(9):214	2003.09
石橋 聡	間伐	北方林業、56(1):21	2004.01
石橋 聡、鷹尾 元、高橋 正義	アカエゾマツ人工林の成長状況	北方林業、56(2):25-27	2004.02
石橋 聡	長伐期施業	北方林業、56(3):69	2004.03
石橋 聡	地球的炭素循環への森林の寄与の維持(基 準5)に関する検討	森林生態系を重視した公共事業の 導入手法調査報告書(北海道)、(平 成15年度):V17-18	2004.03
石橋 聡	「基準5:地球的炭素循環への森林の寄与 の維持」についての検討	森林生態系を重視した公共事業の 導入手法調査報告書(森林総合研 究所)、(平成15年度):16-19	2004.03
石橋 靖幸、齊藤 隆(北大)	エゾヤチネズミにおいて multiple paternity の発生に関わる要因について	日本哺乳類学会大会プログラム・ 講演要旨集(2003)、2003:194	2003.09
齊藤 隆(北大)、石橋 靖幸	Variation of reproductive careers in females of the grey-sided vole, revealed by a microsatellite DNA analysis (マイクロサテ ライト DNA の分析により明らかになった エゾヤチネズミのメスにおける繁殖成績の 変異)	ヨーロッパ哺乳類学会議要旨集(2 003)、4:208	2003.07

発表者	発表表題名	発表誌、巻(号)、頁	発表年月
齊藤 隆(北大)、石橋 靖幸	エゾヤチネズミのメスにおける繁殖成績の 個体変異：繁殖成功を巡る要因	日本哺乳類学会大会プログラム・ 講演要旨集(2003)、2003:136	2003.09
大西 尚樹、齊藤 隆(北大)、石 橋 靖幸、北原 英治、金森 弘樹(島 根県)、西 信介(鳥取県)、大井 徹	ツキノワグマ個体群の遺伝的な構造：西日 本個体群と新潟個体群の比較	日本哺乳類学会大会プログラム・ 講演要旨集(2003)、2003:56	2003.09
上田 明良、大住 克博	同一林内のコナラ、ナラガシワ、クヌギお よびアベマキの堅果への虫害	森林応用研究、12:129-135	2003.10
上田 明良、小林 正秀(京都府林試)	雄の穿入数が異なる丸太へのカシノナガキ クイムシの飛来	森林応用研究、12:137-142	2003.10
上田 明良	タネノキクイムシのブルード発達と性比	日本応用動物昆虫学会・日本昆虫 学会共催北海道支部大会講演要旨 集(2003年度):1	2004.01
上田 明良、日野 輝明、伊東 宏樹、 古澤 仁美、高畑 義啓	シカの採餌がタマバエのゴールサイズを変 え、その寄生蜂の寄生率を変える	日本応用動物昆虫学会大会講演要 旨、48:163	2004.03
上田 明良	里山におけるドングリの生産とそれを食 べる虫との関係	森林総研関西研究情報、69:2	2003.08
上田 明良、伊藤 雅道(横浜国大)	シカがササを食べると虫の数や多様性はど う変化するだろうか	森林総研関西研究発表会要旨(平 成15年度):2	2003.10
上田 明良	雑木林におけるドングリへの虫害の樹種間 差	森林総合研究所関西支所年報(平 成14年度):38	2004.01
小林 正秀(京都府林試)、上田 明 良、野崎 愛(京都府林試)	カシノナガキクイムシの飛来・穿入・繁殖 に及ぼす餌木の含水率の影響	日本林学会誌、85:100-107	2003.04
小林 正秀(京都府林試)、上田 明 良	カシノナガキクイムシによるマスアタック の観察とその再現	日本応用動物昆虫学会誌、47:53- 60	2003.05
小林 正秀(京都府林試)、上田 明 良	異なる処理をした丸太におけるカシノナガ クイムシの繁殖	森林応用研究、12:173-176	2003.10
日野 輝明、古澤 仁美、伊東 宏樹、 上田 明良、高畑 義啓、伊藤 雅道 (横浜国大)	大台ヶ原における生物間相互作用にもとづ く森林生態系管理	保全生態学研究、8:145-158	2003.11
日野 輝明、古澤 仁美、伊東 宏樹、 上田 明良、高畑 義啓、伊藤 雅道 (横浜国大)	シカの個体数管理から森林生態系管理へ	森林総合研究所研究成果選集(平 成14年度):6-7	2003.06
宇都木 玄、阿部 真、飛田 博順、 田内 裕之、佐藤 桃子	札幌市郊外の落葉広葉樹林における、現存 量に関する諸量の推定(I)	日本林学会北海道支部論文集、52 :99-101	2004.02
宇都木 玄	森林の光合成生産力に対する林冠構造の影 響—特に森林の垂直的変化に注目して—	樹守、No13:10-12	2004.3
佐藤 桃子、宇都木 玄、飯田 滋生、 田内 裕之	札幌市郊外の落葉広葉樹林における現存量 に関する諸量の推定(II)	日本林学会北海道支部論文集、52 :102-104	2004.02
Takahashi N, Tahara K, Utsugi H (宇 都木 玄)、Kojima T, Egashira Y, Abe Y, Saito M, Yamada K	Water use efficiency of <i>E. camaldulensis</i> growing in the arid region in Western Australia (西オーストラリア乾燥地に生育 するユーカリカマルドレンシスの水利用効 率)	JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN、36 (4):391-400	2003.04
高橋 伸英、藤原 尚、宇都木 玄、 山田 興一	水分減少に伴うユーカリの光合成停止・落 葉・枯死条件の解明	化学工学会第69年会	2004.03
高橋 伸英、小林 由佳、新井 親夫、 宇都木 玄、田内 裕之、齊藤 昌宏、 安部 征雄、山田 興一	西オーストラリア・レオノラの乾燥地にお ける炭素収支	化学工学会第69年会	2004.03
田内 裕之、宇都木 玄、濱野 裕之、 高橋 伸英、安部 征雄、山田 興一	肥大か膨張か—精密デンドロメータによる 乾燥地樹木の成長動態解析から—	日本林学会関東支部大会発表論文 集、55:131-132	2004.03
Ozaki, Kenichi (尾崎 研一)、 Fukuyama, Kenji (福山 研二)、Isono, Masahiro (磯野 昌弘)、Takao, Gen (鷹 尾 元)	Simultaneous outbreaks of three species of larch web-spinning sawflies: influences of weather and stand structure (3種のカラマ ツヒラタハバチ類の同時大発生)	Forest Ecology and Management、1 87:75-84	2004.01
尾崎 研一、原 秀穂(北海道立林 業試験場)	2001年に北海道で発生した森林昆虫	北方林業(北方林業会)、56:34- 36	2004.02

発 表 者	発 表 表 題 名	発表誌、巻(号)、頁	発表年月
尾崎 研一、佐山 勝彦、河原 孝行	石狩平野における蝶類多様性保全のための 景観管理	日本応用動物昆虫学会・日本昆虫 学会共催北海道支部大会講演要旨 集(2003)、6	2004.01
尾崎 研一	地域の生物多様性を単一の希少種で代表さ せることの問題点	環境研究機関連絡会成果発表会要 旨、22-23	2003.07
尾崎 研一、工藤 琢磨、磯野 昌弘、 河原 孝行、佐山 勝彦、鷹尾 元、 松岡 茂	アンブレラ種であるオオタカを指標とした 生物多様性モニタリング手法の開発に関す る研究	環境保全研究成果集(I)(平成1 4年度)(環境省総合環境政策局総 務課環境研究技術室編)、24-1-2 4-36	2004.01
尾崎 研一、工藤 琢磨、磯野 昌弘、 河原 孝行、佐山 勝彦、鷹尾 元、 松岡 茂	アンブレラ種であるオオタカを指標とした 生物多様性モニタリング手法の開発に関す る研究	環境保全研究成果ダイジェスト集 (平成14年度)(環境省総合環境 政策局総務課環境研究技術室編)、 40-45	2003.11
Ozaki, Kenichi (尾崎 研一)、Kudo, Takuma (工藤 琢磨)、Isono, Masahiro (磯野 昌弘)、Kawahara, Takayuki (河 原 孝行)、Matsuoka, Shigeru (松岡 茂)、Sayama, Katsuhiko (佐山 勝彦)、Takao, Gen (鷹尾 元)	Evaluating goshawk as an umbrella species to assess large-scale biodiversity (アンブレラ 種であるオオタカを指標とした生物多様性 モニタリング手法の開発に関する研究)	Environmental Research in Japan, 2 0 0 2 (Ministry of the Environment)、50-53	2004.01
尾崎 研一、工藤 琢磨、磯野 昌弘、 河原 孝行、佐山 勝彦、鷹尾 元、 松岡 茂	アンブレラ種であるオオタカを指標とした 生物多様性モニタリング手法の開発に関す る研究	研究成果415集(農林水産技術会 議事務局)、46p.	2003.12
尾崎 研一(分担)	マングロープの害虫(日本熱帯農業学会編)	熱帯農業事典(養賢堂)	2003.09
Maeto, Kaoru (前藤 薫(神戸大))、 Ozaki, Kenichi(尾崎 研一)	Prolonged diapause of specialist seed-feeders makes predator satiation unstable in masting of <i>Quercus crispula</i> (種子昆虫の長期休眠がミ ズナラの豊凶を不安定にする)	Oecologia、137:392-398	2003.09
河原 孝行	森林の血縁を測る	森を測る. 日本林学会「森林科学」 編集委員会編、古今書院 p30-33.	2003.08
Kawahara, T. (河原 孝行)	Importance of Biodiversity from genes to landscapes in forests (森林の遺伝子から景 観に至る生物多様性の重要性)	Proceedings of International Workshop of BIO-REFOR、Tokyo、 Japan、	2002.03
Kawahara, T. (河原 孝行)、 Matsuzaki, T. (松崎 智徳)、 Nagamitsu, T. (永光 輝義)	Comparison of genetic diversity between adults and seedlings in a Japanese oak species, <i>Quercus mongolica</i> var. <i>crispula</i> , using microsatellite markers. (マイクロサテ ライトマーカーを用いたミズナラの成木と 実生の遺伝的多様性の比較)	Abstracts, OAK2003, JAPAN、26	2003.09
河原 孝行	フジバカマ、リレー連載 レッドリストの 生き物たち 第9回	林業技術、738: 38-40	2003.09
河原 孝行	渡り鳥、夏鳥、冬鳥、旅鳥、漂鳥、留鳥、 迷鳥、シリーズ森林・林業用語の解説	北方林業、56(2): 45	2004.02
河原 孝行	機関からの便り、環境省公害防止等研究「帰 化生物の排除による小笠原森林生態系の復 元研究」	北方林業、56(2): 22	2004.01
河原 孝行、飯田 滋生	オオタカの生育環境における植物多様性	アンブレラ種であるオオタカを指 標とした生物多様性モニタリング 手法の開発に関する研究(農林水 産事務局編)、研究成果415: 38-43	2003.12
河原 孝行	遺伝的多様性から見た持続可能な森林管理 のための基準と指標の検討	平成15年度森林の公益的機能の評 価手法検討調査報告書、p. 3-7	2004.03
Tani, N(谷 尚樹)、Kawahara, T(河 原 孝行)、Yoshimaru, Y.(吉丸 博 志)、Hoshi, Y.(星 善男(小笠原 村))	Development of SCAR markers distinguishing pure seedlings of the endangered species <i>Morus boninensis</i> from <i>M. boninensis</i> x <i>M.</i> <i>acidosa</i> hybrids for conservation in Bonin (Ogasawara) Islands (小笠原諸島における オガサワラグワ保全のためのオガサワラ グワとオガサワラグワ x シマグワ雑種の実生 を見分ける SCAR マーカーの開発)	Conservation Genetics、4(5): 605- 612	2003.09
Ueno, S. (上野 進一(名古屋大))、 Yoshimaru, H. (吉丸 博志)、 Kawahara, T. (河原 孝行)、 Yamamoto, S. (山本 進一(名古屋 大))	A further six microsatellite markers for <i>Castanopsis cuspidata</i> var. <i>sieboldii</i> Nakai (ス ダジイの新たな6種類のマイクロサテ ライトマーカー)	Conservation Genetics、4(6): 813- 815	2003.12

発 表 者	発 表 表 題 名	発表誌、巻(号)、頁	発表年月
Matsumoto, A. (松本 麻子)、Kawahara, T. (河原 孝行)、Nishikohri, M. (錦織 正智(道立林試))、Shimizu, H. (清水 一(道立林試))、Tsumura, Y. (津村 義彦)	Microsatellite and AFLP analysis of genetic diversity among local populations of <i>Quercus mongolica</i> var. <i>crispula</i> and its genetic background in Hokkaido. (北海道ミズナラ地域集団のマイクロサテライト AFLP による遺伝的多様性の解析とその遺伝的背景)	Abstracts, OAK2003, JAPAN, 19	2003.09
Yahara, T. (矢原 徹一(九大))、Ishii, I. (石井いづみ(九大))、Soejima, A. (副島 顕子(大阪府大))、Kawahara, T. (河原 孝行)、Watanabe, K. (渡邊 邦秋(神戸大))	Molecular phylogenetic studies of sexual and agamosperous plants of <i>Stevia</i> in Mexico that are differentiated into annuals, perennials and shrubs. (一年生、多年生、木本性に分化したメキシコ産ステビア属の有性・無性型植物の分子系統)	Abstracts, Plant CANADA 2003, Antigonish, 91	2003.06
Kitamura, Keiko (北村 系子)、Morita, Tatsuyoshi (森田 竜義)(新潟大)、Kudo, Hiroshi (工藤 洋)(神戸大)、Jay O'Neill (スミソニアン環境研究センター)、Frederich H. Utech (カーネギーメロン大)、Dennis F. Whigham (スミソニアン環境研究センター)、Kawano, Shoichi (河野 昭一)(京都大)	Demographic genetics of the American beech (<i>Fagus grandifolia</i> Ehrh.) III. Genetic substructuring of coastal plain population in Maryland. (アメリカカブナの個体群統計遺伝学的解析 III 中部海岸平野メリーランド州の集団における遺伝的内部構造)	Plant Species Biology, 18: 13-33	2003.11
北村 兼三、中井裕一郎、鈴木 寛	シラカンバが優占する落葉広葉樹林の群落コンダクタンス	日本林学会北海道支部会論文集、52: 115-117	2004.02
北村 兼三、中井裕一郎、鈴木 寛	定山溪森林理水試験地の水収支	森林総合研究所北海道支所研究レポート、70: 1-4	2003.08
Kitao, M. (北尾 光俊)、Lei, T. T. (CSIRO)、Koike, T. (北海道大)、Tobita, H.、Maruyama, Y.	Higher electron transport rate observed at low intercellular CO ₂ concentration in long-term drought-acclimated leaves of Japanese mountain birch (<i>Betula ermanii</i> Cham.) (長期乾燥ストレスに順化したダケカンバ葉で見られた低葉内 CO ₂ 下での電子伝達速度の上昇)	Physiologia Plantarum, 118:406-413	2003.07
北尾 光俊	樹木の光合成に及ぼす環境ストレスの影響	日本林学会誌	2004.02
北尾 光俊、飛田 博順、丸山 温	高 CO ₂ 条件下での乾燥ストレスがシラカンバ苗木の光合成に及ぼす影響	日本林学会北海道支部大会論文集、52:69-71	2004.02
北尾 光俊	乾燥ストレスが光合成に与える影響	森林総研北海道支所研究レポート、75:1-4	2004.03
Koike, T. (北海道大)、Kitao, M. (北尾 光俊)、Quoreshi, A. M. (カナダ国ラヴァール大)、Matsuura, Y.	Growth characteristics of root-shoot relations of three birch seedlings raised under different water regimes. (異なる灌水条件で生育したカンバ3種の地上部-地下部に関する成長特性)	Plant and Soil, 255: 303-310	2003.08
工藤 琢磨	オオタカを守るために大事なこと	森の野鳥に学ぶ101のヒント、90-91	2004.02
工藤 琢磨、尾崎 研一、鷹尾 元、酒井 智丈 (EFP)	オオタカはなぜ農耕地帯に生息できるのか?	日本鳥学会大会講演要旨集(2003)、6	2003.09
工藤 琢磨、尾崎 研一、鷹尾 元	里山を翔けるハンター-北海道・石狩平野でのオオタカの繁殖生態-	研究の森、118	2003.11
駒木 貴彰	北海道のカラマツ林施業における経営収支と森林所有者の動向	日本林学会北海道支部論文集(2004)、52:168-170	2004.02
駒木 貴彰	ロシア連邦における林産物の生産と流通に関する最近の動向	日本林学会大会学術講演集(2003)、114:26	2003.03
駒木 貴彰	多角的事業展開によって若者を積極的に採用-採用条件は"林業が好きなこと"-	森林組合(全国森林組合連合会)、391:22-27	2003.01
駒木 貴彰	森林所有者が木を伐ろうと考えるとき-森林所有者の伐採性向と森林整備のあり方-	林業シンポジウム報告書「スギを伐って元気を出そう」(2002): 1-13	2002.11
駒木 貴彰	ロシア極東及び東シベリアの森林資源と林産業の現状	山林(大日本山学会)、1428: 27-34	2003.05
駒木 貴彰	森林・林業用語の解説「法正林」	北方林業(北方林業会)、656:21	2003.11

発 表 者	発 表 表 題 名	発表誌、巻(号)、頁	発表年月
駒木 貴彰、八巻 一成、野田 英志、奥田 裕規、久保山裕史、西園 朋広、野田 巖、大木 祐一(エネルギー経済研究所)、工藤 拓毅(エネルギー経済研究所)、佐々木宏一(エネルギー経済研究所)、斎藤晃太郎(エネルギー経済研究所)	木質系バイオマスのエネルギー供給のシステム化に関する研究	環境総合研究最終成果報告書「木質系バイオマス・エネルギーの利用技術及び供給可能量の評価に関する研究(平成12年度～平成14年度)」、71-96	2003
酒井 寿夫、森澤 猛、仙石 鐵也(元森林総研)	御岳山における7年間の降雨・降雪のpH、ECと溶存成分の特性	森林立地、45(1):21-28	2003.06
酒井 寿夫	奥定山溪に分布する褐色森林土の生成過程について(1)-断面形態の特徴と母材の推定-	日本林学会北海道支部論文集、52:133-135	2004.02
酒井 寿夫、稲垣 昌宏、高橋 正通、野口享太郎、田中 格(山梨県森林総研)	苗畑土壌における植林後の土壌炭素・窒素蓄積量の変化	森林立地、45(2):93-98	2003.12
酒井 佳美、田中 永晴、石橋 聡、鷹尾 元、高橋 正義、山口 岳広、阿部 真、佐々木尚三	幾寅天然林における47年間の粗大有機物の蓄積.	日本林学会北海道支部会講演論文集、52:96-98	2004.02
坂本 泰明	ヤナギ類水紋病の研究-我が国における発生と罹病材の病態解剖-	日本植物病理学会第22回植物細菌病談話会講演要旨集、21-28	2003.11
坂本 泰明	平成14年に発生を確認した樹木病害	北方林業、55(6):10-12	2003.6
M. Kayama (香山 雅純、北大)、A. M. Quoreshi (北大)、S. Kitaoka (北岡 哲、北大)、Y. Kitahashi (北橋 善範、北大)、Y. Sakamoto (坂本 泰明)、Y. Maruyama (丸山 温)、M. Kitao (北尾 光俊)、T. Koike (小池 孝良、北大)	Effect of decaying salt on the vitality and health of two spruce species, <i>Picea abies</i> Karst., and <i>Picea glehnii</i> Maters planted along roadsides in Hokkaido. (街路樹として植栽されたヨーロッパトウ及びアカエゾマツの健全度に対する融雪剤の影響)	Environmental Pollution	2003.7
小池 孝良 (北大)、松木佐和子 (北大)、崔 東寿 (北大)、松木 剛史 (北大)、坂本 泰明、丸山 温	カバノキか18種の成長特性と被食防衛能	日本林学会北海道支部論文集、52:78-80	2004.2
田中 秀平 (山口大)、水井 祐子 (山口大)、寺崎 秀和 (山口大)、坂本 泰明、伊藤 真一 (山口大)	わが国におけるタネツケバナ根こぶびょうの発生文応調査(続報)	日本植物病理学会大会講演要旨集(平成16年度)	2004.3
佐々木尚三、足立 康成(森林技術第一センター)	集材路からの土壌流出に関する考察-路面の表面流と浸食-	日本林学会北海道支部論文集、52:163-165	2004.02
Sasaki, S. (佐々木尚三)、Tasaka, T. (Utsunomiya Univ.), Miyata, E. (Univ. Washington)	On a harvesting method applicable to the mangrove forests: An introduction of the Zigzag endless loop mono-cable logging system (マングローブ林に適用可能な集材方法:モノケーブル集材システムについて)	Abstracts of National Workshop on Mangrove, 15-17 July 2003, Taiping, Malaysia	2003.07
Sidle, R. (Kyoto Univ.), Sasaki, S. (佐々木尚三)、Otsuki, M. (Univ. Singapore)、Noguchi, S. (JIRCAS)、Rahim, N. (FRIM)	Sediment Pathways in a tropical forest: effects of logging roads and skid trails (熱帯林における浸食土壌の流路:集運材路の影響)	Hydrological Processes、18(4):703-720	2004.03
佐山 勝彦	誘引トラップによるスズメバチの種構成と捕獲消長	日本応用動物昆虫学会・日本昆虫学会共催北海道支部大会講演要旨集(2003年度)、6	2004.01
佐山 勝彦、榎原 寛、井上 大成、大河内 勇	誘引衝突式トラップによるカミキリムシのモニタリング	日本応用動物昆虫学会大会講演要旨(2004)、48:63	2004.03
井上 大成、大河内 勇、佐山 勝彦	森林昆虫のモニタリングに必要な経費 -カミキリムシ類によるモデルケース-	日本応用動物昆虫学会大会講演要旨(2004)、48:64	2004.03
佐山 勝彦	スズメバチの生態と刺傷被害	樹守(日本樹木医会北海道支部会報)、13:13-17	2004.03
Gen Takao (鷹尾 元)	Indices from snow-covered Landsat imagery for boreal forest change detection (積雪期のランドサット画像による森林変化抽出のための指標)	写真測量とリモートセンシング 42(6):52-66	2004.01
鷹尾 元	全天写真から見たシベリアカラマツ林の構造	日本林学会北海道支部大会論文集 52:154-156	2004.02

発 表 者	発 表 表 題 名	発表誌、巻(号)、頁	発表年月
Gen Takao (鷹尾 元)、Keiji Kushida (串田 圭司、北大)、Trofim C. Maximov (凍土生物研、ロシア)、Alexandr N. Fedorov (永久凍土研、ロシア)	Larch stand regeneration and its estimation with satellite images in Central Yakutia, Russia (ロシア、中央ヤクートのカラマツ林の更新と衛星画像によるその推定)	Tohoku Geophysical Journal 36(4): 475-478	2003.05
Gen Takao (鷹尾 元)、Keiji Kushida (串田 圭司、北大)、Trofim C. Maximov, Roman M. Desyatkin, Alexandr V. Kononov (凍土生物研、ロシア)、Alexandr N. Fedorov、Yaroslav Y. Torgovkin (永久凍土研、ロシア)	Larch stands' biomass distribution detected by satellite images (衛星画像で把握したカラマツ林バイオマスの分布)	Proceedings of the 4th International Workshop on Global Change: Connection to the Arctic 2003 (GCCA4) 156-160	2003.11
高橋 正義、庄子 康、八巻 一成	奥定山溪国有林における春期の入林状況について	日本林学会北海道支部会講演論文集、52:147-149	2004.02
高橋 正義	里山・都市近郊林の変遷について	地理情報システム学会第14回バイオリージョン分科会要旨集、5	2003.09
高橋 正義	空中写真を用いた林相変化の把握－奥定山溪国有林の林相とその変化－	林業技術、742:18-19	2004.01
田中 永晴	モニトリオールプロセスにおける土壌特性に関わる基準と指標についての検討	平成15年度森林生態系を重視した公共事業導入手法調査報告書(平成16年3月)森林総合研究所、8-11	2004.03
田中 永晴	土壌特性に関わる基準4および5の検討	平成15年度森林生態系を重視した公共事業導入手法調査報告書(平成16年3月)北海道、V13-14	2004.03
飛田 博順、北尾 光俊、宇都木 玄、丸山 温	シラカンバ、ミズナラ、ハリギリの光合成の温度依存性	日本林学会北海道支部大会論文集、52:72-74	2004.02
柴田 隆紀(北海道東海大)、松木 佐和子(北海道大)、飛田 博順、北尾 光俊、丸山 温、竹内 裕一(北海道東海大)、小池 孝良(北海道大)	エリサンを用いた落葉広葉樹稚樹の摂食試験	日本林学会北海道支部大会論文集、52:81-83	2004.02
Koike, T. (北海道大)、Matsuki, S. (北海道大)、Matsumoto, T.、Yamaji, K.、Tobita, H. (飛田 博順)、Kitao, M.、Maruyama, Y.	Bottom-up regulation for protection and conservation of forest ecosystems in northern Japan under changing environments. (変化する環境下における北方林の森林生態系の保護と保全のためのボトムアップ制御)	Eurasian Journal of Forest Research、6(2):177-189	2003.09
中井裕一郎、北村 兼三、鈴木 覚、阿部 真	Year-long carbon dioxide exchange above a broadleaf deciduous forest in Sapporo, Northern Japan (北日本札幌の落葉広葉樹林における二酸化炭素交換量の通年観測)	Tellus、55B:305-312	2003.04
鈴木 和良(地球観測フロンティア)、中井裕一郎、大畑 哲夫(北海道大学低温科学研究所)、中村 勉(岩手大学)、太田 岳史(名古屋大学)	Effect of snow interception on the energy balance above deciduous and coniferous forests during a snowy winter(降雪遮断が落葉樹と常緑針葉樹林のエネルギー収支に与える影響)	IAHS Publication、280:309-317	2003.07
中井裕一郎、北村 兼三、鈴木 覚	Seasonal and interannual variations in carbon dioxide exchange and carbon balance in a cool-temperate deciduous forest in Sapporo, Japan (札幌の落葉広葉樹林における森林～大気間の二酸化炭素交換量と炭素収支の季節変化と年々変動)	General Assembly of the International Union of Geodesy and Geophysics (XXIII)、abstract B.3 95	2003.06
中井裕一郎、北村 兼三、鈴木 覚	北方系落葉広葉樹林における大気－森林間のCO ₂ 交換量	森林総合研究所北海道支所研究レポート、72:1-4	2003.09
永光 輝義、松崎 智徳、森 洋佑(北海道大学)	十勝地方南部におけるケショウヤナギの分布と北海道成木集団の絶滅確率の推定	ひがし大雪博物館研究報告、25:83-90	2003.04
永光 輝義	森林におけるニホンミツバチと花との関係－セイヨウミツバチとは異なる花粉源植物の好み	昆虫と自然、36:21-24	2003.11
Koike Fumito (小池 文人：横浜国立大学)、Nagamitsu Teruyoshi (永光 輝義)	Canopy foliage structure and flight density of butterflies and birds in Sarawak. (サラワクにおける林冠葉群構造と蝶と鳥の飛翔密度)	Basset Y, Novotny V, Miller S E, Kitching R L (eds) Anthoropods of Tropical Forests Spatio-temporal Dynamics and Resource Use in the Canopy. 86-91. Cambridge University Press, Cambridge.	2003.08

発 表 者	発 表 表 題 名	発表誌、巻(号)、頁	発表年月
Itioka Takao (市岡 孝朗:名古屋大学)、Kato Makoto (加藤 真:京都大学)、Kaliang Het (FRIM)、Merdeck Mahamud Ben (FRIM)、Nagamitsu Teruyoshi (永光 輝義)、Sakai Shoko (酒井 章子:京都大学)、Mohamad Sarkawi Umah (FRIM)、Yamane Seiki (山根 正気:鹿児島大学)、Hamid Abang Abdul (FRIM)、Inoue Tamiji (井上 民二:京都大学)	Insect responses to general flowering in Sarawak. (サラワクにおける一斉開花への昆虫の反応)	Basset Y, Novotny V, Miller S E, Kitching R L (eds) <i>Anthropods of Tropical Forests Spatio-temporal Dynamics and Resource Use in the Canopy</i> . 126-134. Cambridge University Press, Cambridge.	2003.08
Tsumura Yukihiko (津村 義彦)、Ujino-Ihara Tokuko (宇治野伊原徳子)、Obayashi Kyoko (大林 恭子:筑波大学)、Konuma Akihiko (小沼 明彦:新潟大学)、Nagamitsu Teruyoshi (永光 輝義)	Mating system and gene flow of dipterocarps revealed by genetic markers. (遺伝標識によって解明されたフタバガキの交配システムと遺伝子流動)	Okuda T, Manokaran N, Matsumoto Y, Niiyama K, Thomas SC, Ashton PS (eds) <i>Pasoh: Ecology of a Lowland Rain Forest in Southeast Asia</i> . 285-292. Springer-Verlag, Tokyo.	2003.04
平川 浩文	自動撮影調査に基づく中大型哺乳類の日周活動の分析	日本哺乳類学会大会講演要旨集(2003)、178-178	2003.09
平川 浩文	自動撮影調査から動物の密度が分かるかー密度推定の問題を考える	日本哺乳類学会大会講演要旨集(2003)、33-33	2003.09
平川 浩文	自動撮影による効率的な生息確認手法の確立	移入哺乳類排除システムの確立に関する研究 (北海道環境科学研究センター)、129-143	2003.03
鈴木 透 (エンビジョン)、宇野 裕之 (北海道環境科学研究センター)、赤松 里香 (エンビジョン)、伊吾田 宏正 (北海道大学)、早稲田 宏一 (エンビジョン)、立木 靖之 (エンビジョン)、平川 浩文	GPS テレメトリーを用いたエゾシカの生息地利用と季節移動	日本哺乳類学会大会講演要旨集(2003)、91-91	2003.09
H. Hirakawa(平川 浩文)、N. Sasaki (佐々木尚子、北海道教育大学釧路校)、K. Maeda (前田喜四雄、奈良教育大学)	Monitoring bat activities in forests with automatic cameras	The 2nd Bats and Forests Symposium and Workshop: program and abstract(2004)、35-35	2004.03
平川 浩文	野幌森林公園における哺乳類の生息状況-自動撮影調査の結果から	第4回野幌研究会講演要旨集(2004)、8-8	2004.03
平川 浩文	自動撮影が切り開く哺乳類研究の新しいアプローチ	北海道支所研究レポート67、1-8	2003.06
松岡 茂	針葉樹林に生きるキツキーミユビゲラ	森の野鳥を楽しむ一〇一のヒント、108-109	2004.02
松岡 茂	樹洞を覗くとなにが見える	森の野鳥を楽しむ一〇一のヒント、136-137	2004.02
松岡 茂	二次樹洞利用種によるアカゲラの古巣利用の季節変異	日本鳥学会大会講演要旨集 (2003)、53	2003.09
松岡 茂	単位記録時間からみた鳥声録音データの構造的特徴	北海道鳥学セミナー要旨集、15:9	2004.03
松岡 茂	レッドリストの生き物たち。針葉樹林一筋のキツキーミユビゲラ	林業技術、742:38-39	2004.01
松岡 茂	樹洞内観察記録装置の開発ー生物多様性の保全をめざしてー	森林総研北海道支所研究レポート、71:1-4	2003.08
Noritomo Kawaji (川路 則友)、Hitoshi Tojo (東條 一史)、Shigeru Matsuoka (松岡 茂)、Hajime Takano (高野肇)、Eiji Kithara (北原 英治)	Catalogue of bird skin collection in Forestry and Forest Products Research Institute (FFPRI) (森林総合研究所所蔵の仮剥製鳥類標本目録)	森林総合研究所研究報告、389:271-350	2003.12
丸山 温、石橋 聡、山口 岳広、北尾 光俊、飛田 博順、松井 崇史 (北海道大)、高橋 邦秀 (北海道大)	壮齢トドマツ人工林に発生した枯損被害 (I)被害発生林分と被害の特徴	日本林学会北海道支部大会論文集、52:105-106	2004.02
Ishii, H. (神戸大)、Ooishi, M. (北海道大)、Maruyama, Y. (丸山 温)、Koike, T. (北海道大)	Acclimation of shoot and needle morphology and photosynthesis of two Picea species to differences in soil nutrient availability (異なる土壌栄養条件に対するトウヒ属2樹種のシュートと針葉の形態および光合成の適応)	Tree Physiology、23:453-461	2003.05

発表者	発表表題名	発表誌、巻(号)、頁	発表年月
Matsumoto, Y.、Maruyama, Y. (丸山 温)、Uemura, A.、Shigenaga, H.、Okuda, S.、Harayama, H.、Kawarasaki, S.、Ang, L. H. (マレーシア森林研究所)、Yap, S. K. (マレーシア森林研究所)	Gas exchange and turgor maintenance of tropical tree species in Pasoh Forest Reserve (パソ保護林熱帯樹種のカス交換特性と膨圧維持)	Okuda, T. et al. eds. "Pasoh: Ecology of a Lowland Rain Forest in Southeast Asia", 241-250、(Springer, Tokyo)	2003.04
Marenco, R. A (INPA).、Maruyama, Y. (丸山 温)	Leaf gas exchange of tropical trees in open fields and under nursery conditions. (熱帯樹種の野外と苗畑における葉のカス交換)	Higuchi, N. et al. eds. "Project Jacaranda-Fase II: Research on Forest of Central Amazon", 191-205	2003.06
Kayama, M. (北海道大)、Quoreshi, A. M. (カナダ国ラヴァール大)、Kitaoka, S. (北海道大)、Kitahashi, Y. (北海道大)、Sakamoto, Y.、Maruyama, Y. (丸山 温)、Kitao, M.、Koike, T. (北海道大)	Effects of deicing salt on the vitality and health of two spruce species, <i>Picea abies</i> Karst., and <i>Picea glehnii</i> Masters planted along roadsides in northern Japan. (道路沿いに植栽されたトウヒ2種の健全性に与える凍結防止剤の影響)	Environmental Pollution 124:127-137	2003.07
Kitao, M.、Lei, T. T. (CSIRO)、Koike, T. (北海道大)、Tobita, H.、Maruyama, Y. (丸山 温)	Higher electron transport rate observed at low intercellular CO ₂ concentration in long-term drought-acclimated leaves of Japanese mountain birch (<i>Betula ermanii</i> Cham.) (長期乾燥ストレスに順化したダケカンパ葉で見られた低葉内 CO ₂ 下での電子伝達速度の上昇)	Physiologia Plantarum 118:406-413	2003.07
Quoreshi, A. M. (カナダ国ラヴァール大)、Maruyama, Y. (丸山 温)、Koike, T. (北海道大)	The role of mycorrhiza in forest ecosystems under CO ₂ -enriched atmosphere (大気 CO ₂ 濃度上昇下の森林生態系における菌根の役割)	Eurasian Journal of Forest Research, 6(2):171-176	2003.09
Koike, T. (北海道大)、Matsuki, S. (北海道大)、Matsumoto, T.、Yamaji, K.、Tobita, H.、Kitao, M.、Maruyama, Y. (丸山 温)	Bottom-up regulation for protection and conservation of forest ecosystems in northern Japan under changing environments.	Eurasian Journal of Forest Research, 6(2):177-189	2003.09
崔 東寿 (北海道大)、Quoreshi, A. M. (カナダ国ラヴァール大)、丸山 温、小池 孝良 (北海道大)	外生菌根菌に感染したマツ類実生苗の成長と光合成に及ぼす高 CO ₂ の影響	日本林学会北海道支部大会論文集、52:63-65	2004.02
北橋 善範 (北海道大)、丸山 温、市栄 智明 (北海道大)、小池 孝良 (北海道大)	落葉広葉樹の個葉における気孔の形態と水分生理	日本林学会北海道支部大会論文集、52:87-89	2004.02
松井 崇史 (北海道大)、丸山 温、石橋 聡、山口 岳広、北尾 光俊、飛田 博順、高橋 邦秀 (北海道大)	壮齡トドマツ人工林に発生した枯損被害 (II) 過去の成長経過	日本林学会北海道支部大会論文集、52:107-108	2004.02
丸山 温、中村 松三、佐藤 明	裸地に植栽したアマゾン熱帯造林樹種3種のカス交換特性	日本熱帯生態学会年次大会講演要旨集、13:33	2003.06
松本 陽介、丸山 温、Ang, L. H. (マレーシア森林研究所)	熱帯造林樹種としての <i>Shorea platyclados</i> の可能性	日本熱帯生態学会年次大会講演要旨集、13:41	2003.06
丸山 温、田中 永晴、駒木 貴彰、石橋 聡	第114回日本林学会大会見聞録	北方林業、55:133-135	2003.06
Maruyama, Y. (丸山 温)、Vieira, G. (INPA)、Marenco, R. (INPA)、Iida, S.、Nakamura, S.、Sato, A.	Photosynthetic traits and gas exchange properties of seedlings of several tree species native to Amazon. (アマゾン熱帯樹種数種のカス交換特性)	Abstracts of Brazil-Japan Seminar "Silvicultural and Ecological Research on Rehabilitation of Degraded Area in Amazon, Brazil.", 17	2003.07
丸山 温	森林衰退の現状と取り組み - 大気環境学会植物分科会講演会報告 -	北方林業、55:177-181	2003.08
丸山 温、北尾 光俊、飛田 博順、山口 岳広	森林生態系の健全性評価指標.	森林総研北海道支所研究レポート、73:1-4	2003.10
丸山 温	森林・林業用語の解説シリーズをはじめに於いて	北方林業、55:237	2003.10
丸山 温	森林・林業用語の解説 - 先駆樹種	北方林業、55:237	2003.10
丸山 温	森林・林業用語の解説 - 陽樹・陰樹	北方林業、55:283	2003.12
丸山 温	「ブラジル・アマゾン森林研究計画プロジェクト」と日本・ブラジル共同セミナー「アマゾンの森林管理と荒廃地緑化」	北方林業、56:37-40	2004.02
丸山 温、小池 孝良	新考・森林学 - これからの森づくりシリーズをはじめに於いて	北方林業、56:64	2004.03

発 表 者	発 表 表 題 名	発表誌、巻(号)、頁	発表年月
Matsumoto, Y., Maruyama, Y. (丸山 温)、Yoneda, R., Mohd Azani, A. (マレーシア・ブトラ大学)、Faridah, H. (マレーシア・ブトラ大学)	Ecophysiological traits of tropical tree species. (熱帯樹種の生理生態的特性)	Kobayashi, S. et al. eds. "Rehabilitation of Degraded Tropical Forests, Southeast Asia 2003", 87-94	2003.09
北橋 善範 (北海道大)、丸山 温、市栄 智明 (北海道大)、崔 東寿 (北海道大)、江口 則和 (北海道大)、小池 孝良 (北海道大)	落葉広葉樹の気孔の形態と水の使い方ー都市緑地評価への適用を目指してー	北方林業、56:8-11	2004.01
八巻 一成	ザール・フンスリュック自然公園にみるドイツ自然公園の特質	ランドスケープ研究、66(5):659-664	2003.05
香坂 玲 (フライブルク大)、八巻 一成、神沼公三郎 (北大)、石井 寛 (北大)	ドイツにおける木質バイオマス・エネルギーの戦略的展開	サステイナブル・マネジメント、3(1)	2003.06
八巻 一成、神沼公三郎 (北大)、香坂 玲 (フライブルク大)、	ドイツ、バーデン・ビュルテンベルク州における木質バイオエネルギー原料供給	日本林学会大会講演集、114	2003.3
山口 岳広	カラマツ高齢林の腐朽被害調査法とその問題点	日本林学会北海道支部論文集、52:127-129	2004.02
山口 岳広	サクラの幹腐朽病	元気な森の作り方-材質に影響を与える林木の被害とその対策(財)日本緑化センター、80-83	2004.01
Yamaguchi, Takehiro (山口 岳広)、Maruyama, Yutaka (丸山 温)、Sakamoto Yasuaki (坂本 泰明)	Evaluation of forest health and viability suitable for sustainable forest management in Hokkaido, northern Japan -Three years' trial and perspective for the future- (北海道の持続可能な森林管理に適した森林健全性評価手法-3年間の試みと今後の展望-)	Proceedings of the C & I workshop, 2002. - Progress report of the research project -. 13-18	2004.03
山口 岳広	根株心腐病	農業総覧 花卉病虫害診断防除編 追録2号・6巻カラマツ/病気、農山漁村文化協会、38の2、266の8-266の10	2004.03
山口 岳広	風倒跡針葉樹二次林におけるマツノネクチタケの根株腐朽被害	日本菌学会大会講演要旨集、47:76	2003.05
山口 岳広	根および根株腐朽に関する I U F R O 作業部会に参加して (I)ーカナダ、ケベックでの会議の概要ー	北方林業、55(5):104-107	2003.05
山口 岳広	根および根株腐朽に関する I U F R O 作業部会に参加して (II)ー<エクスカーション>カナダ東部の根株腐朽被害ー	北方林業、55(7):158-160	2003.07
山口 岳広	カシワに発生したヤケコゲタケ	森林防疫、52(7):131	2003.07
山口 岳広	シリーズ 森林・林業用語の解説 褐色腐朽と白色腐朽	北方林業、55(11):261	2003.11
山口 岳広	カンパ類の主要な腐朽菌と腐朽・変色被害	北海道の林木育種、46(2):25-28	2004.02
伊藤 賢介、山口 岳広	カラマツヤツバキクイムシに伴う青変菌のカラマツ生立木に対する病原性の比較	森林防疫、52(10):208-215	2003.10
山口 岳広	エゾマツに発生したマツノカタワタケ	森林防疫、52(11):225	2003.11
山口 岳広	巨大なコフキササルノコシカケ	森林保護、293:7-8	2004.01
山口 岳広	シリーズ 森林・林業用語の解説 菌根(菌)	北方林業、56(3):69	2004.03
山口 岳広	非破壊的手法で生立木の腐朽を探す	日本樹木医会北海道支部会報「樹守」、13:18-19	2004.03
山下 直子	帰化生物の影響排除による小笠原森林生態系の復元研究 2-4アカギ上木枯殺後の天然更新促進技術の開発 2-4-1天然更新過程	平成14年度環境保全研究成果集 環境省総合環境政策局総務課環境研究技術室編 (25)6-7.	2003.08
山下 直子、田中 信行	小笠原におけるアカギの推移行列モデルによる森林管理	森林総合研究所 平成14年度研究成果選集 p10-11.	2003.06
Ishida, Atsushi (石田 厚)、Uemura, Akira (上村 章)、Yamashita, Naoko (山下 直子)、Shimizu, Michiru (清水美智留)、Nakano, Takashi (中野隆志)、Ang lai Hoe (アン)	Leaf physiological adjustments to changing lights: partitioning theheterogeneous resources across tree species. (変動光環境に対する葉の馴化：種間の異なった光資源利用様式)	Pasoh: Ecology of a Lowland Rain Forest in Southeast Asia (パソ：東南アジア 熱帯雨林の生態) Edit. Okuda T. et al. Pp 225-239	2003.04

発 表 者	発 表 表 題 名	発表誌、巻(号)、頁	発表年月
山野井克己、竹内由香里、村上 茂樹	デジタル式荷重測定器を用いた斜面積雪安定度の評価	雪氷北信越(2003)、23:74	2003.05
山野井克己、庭野 昭二、村上 茂樹、遠藤八十一、野表 昌夫(新潟県長岡林業事務所)	低木広葉樹林の林分改良のための施行と植栽木の成長	日本雪氷学会全国大会予稿集(2003):163	2003.09
Yukari Takeuchi(竹内由香里)、Katsumi Yamanoi(山野井克己)、Yasoichi Endo(遠藤八十一)、Shigeki Murakami(村上 茂樹)、Kaori Izumi(和泉 薫、新潟大)	Velocities for the dry and wet snow avalanches at Makunosawa valley in Myoko, Japan(妙高幕の沢での乾雪および湿雪なだれの速度)	Cold Regions Science and Technology(2003)、37:483-486	2003.11
Endo, Y.(遠藤八十一)、Kominami, Y.(小南 裕志)、Yamanoi, K.(山野井克己)、Niwano, S.(庭野 昭二)	Depth and density of hourly new snow computed by viscous compression model.(粘性圧縮モデルを用いた時降雪深と密度の計算)	Data of Glaciological Studies(2003) Publication 94: 87-94、Institute of Geography of the Russian Academy of Sciences Glaciological Association	2003
遠藤八十一、小南 裕志、山野井克己、竹内由香里、村上 茂樹、庭野 昭二	降水量データから積雪深と密度を推定する方法	雪氷(2004)、66(1):17-25	2004.01
熊倉 俊郎(長岡技術科学大)、山野井克己、早川 典生(長岡技術科学大)	積雪の多層圧密モデルを用いた北陸地方の降積雪現象の解析	雪氷(2004)、66(1):35-50	2004.01
山口 悟(防災科研)、西村 浩一(防災科研)、納口 恭明(防災科研)、佐藤 篤司(防災科研)、和泉 薫(新潟大)、村上 茂樹、山野井克己、竹内由香里、Lehning, M.(SFL)	上高地乗鞍スーパー林道で発生した雪崩(2003年1月5日)の調査報告	雪氷(2004)、66(1):51-57	2004.01
山口 悟(防災科研)、西村 浩一(防災科研)、納口 恭明(防災科研)、佐藤 篤司(防災科研)、和泉 薫(新潟大)、村上 茂樹、山野井克己、竹内由香里	積雪変質モデル(SNOWPACK)を用いた雪崩予測	雪氷北信越(2003)、23:69	2003.05
熊倉 俊郎(長岡技術科学大)、田之脇 淳(長岡技術科学大)、山野井克己、早川 典生(長岡技術科学大)	積雪圧密モデルの構築とそれを用いた広域積雪の把握	雪氷北信越(2003)、23:68	2003.05
遠藤八十一、小南 裕志、山野井克己、竹内由香里、村上 茂樹	表計算ソフトによる積雪深の推定	雪氷北信越(2003)、23:67	2003.05
竹内由香里、遠藤八十一、山野井克己、村上 茂樹、庭野 昭二	妙高・幕の沢で発生した湿雪雪崩と冬期気象条件	雪氷北信越(2003)、23:48	2003.05
遠藤八十一、山野井克己、竹内由香里、村上 茂樹	フルイを用いた積雪粒度ゲージ	日本雪氷学会全国大会予稿集(2003):205	2003.09
山口 悟(防災科研)、西村 浩一(防災科研)、納口 恭明(防災科研)、佐藤 篤司(防災科研)、和泉 薫(新潟大)、村上 茂樹、山野井克己、竹内由香里	長野県乗鞍スーパー林道で発生した雪崩	日本雪氷学会全国大会予稿集(2003):161	2003.09
遠藤八十一、小南 裕志、山野井克己、竹内由香里、村上 茂樹	表計算ソフトによる積雪深の計算方法	日本雪氷学会全国大会予稿集(2003):92	2003.09

Ⅷ. 資料

1. 会議等の開催

会 議 名	開催日	主 催	開催場所	備 考
北海道林業林産試験研究機関連絡協議会情報連絡部会	16. 6. 4	北海道支所	北海道支所	
北海道林業林産試験研究連絡協議会研究専門部会（第1回）	16. 7. 1	北海道支所	北海道支所	
北海道林業林産試験研究連絡協議会研究専門部会（第2回）	16. 7. 29	北海道支所	北海道立林業試験場	
北海道林業林産試験研究機関連絡協議会研究専門部会（第3回）	16. 8. 24	北海道支所	北海道立林業試験場	
北海道林業林産試験研究機関連絡協議会総会	16. 9. 3	北海道支所	北海道立林産試験場	
林業研究開発推進北海道ブロック会議	16. 9. 15	林野庁 北海道支所	KKRホテル札幌	
研究業務報告会	16. 12. 16 ～17	北海道支所	北海道支所	
「エウ1」研究推進会議	17. 1. 21	北海道支所	北海道支所	
交プロ「壮齢トドマツ人工林」研究推進会議	17. 2. 16	北海道支所	北海道支所	
北海道支所研究成果発表会	17. 3. 3	北海道支所	札幌市教育文化会館	
交プロ「北海道森林被害」研究推進会議	17. 3. 8	北海道支所	北海道支所	
北海道支所研究評議会	17. 3. 10	北海道支所	北海道支所	
環境省委託プロ「オオタカ」研究推進会議	17. 3. 18	北海道支所	北海道支所	

2. その他の諸会議・行事

会 議 名	開催日	主 催	開 催 場 所	出席者
平成15年度道立林産試験場研究成果発表会	16. 4. 15	北海道立林産試験場	北海道立林産試験場	志水 俊夫 北原 英治 吉岡 章次
北海道育樹祭	16. 6. 6	北海道	道の駅香りの里たきのうえ（滝上町）	北原 英治 他
林木育種推進北海道地区協議会	16. 7. 8	林木育種センター北海道育種場	道 赤れんが庁舎	志水 俊夫 北原 英治 河原 孝行
北海道林木育種現地研究会	16. 9. 16 ～ 9. 17	林木育種センター北海道育種場	東京大学北海道演習林	北原 英治
第4回農林水産業にかかると環境研究の三所連絡会	16. 10. 6	森林総合研究所	北海道支所	志水 俊夫 北原 英治 猪瀬 光雄 他
全国山林苗木品評会	16. 10. 20	全国山林種苗協同組合連合会	美瑛町	猪瀬 光雄
風害調査委員会	16. 11. 2	北海道森林管理局	北海道森林管理局	猪瀬 光雄
北海道立林業試験場研究成果発表会	17. 2. 15	北海道道立林業試験場	美唄市民会館	志水 俊夫 北原 英治 猪瀬 光雄 吉岡 章次 他

3. 依頼出張

氏名	依頼者	用務	用務先	日程
丸山 温	日本樹木医会北海道支部	平成16年度日本樹木医会北海道支部総会における講演会講師	KKRホテル札幌	16. 4. 9
志水 俊夫	北海道森林審議会林地保全部会	平成16年度第1回北海道森林審議会林地保全部会 現地調査	勇払郡占冠村字トマム	16. 5.18
北村 系子	統計数理研究所	平成16年度統計数理研究所共同研究の実施	黒沢尻ブナ天然林施業指標林(岩手県北上市)	16. 5.19 ～ 5.20
丸山 温	日本林学会	第23回JFR編集委員会 出席	東京大学農学部	16. 5.24 ～ 5.25
鷹尾 元	日本林学会	第23回JFR編集委員会 出席	東京大学農学部	16. 5.24 ～ 5.25
工藤 琢磨	(財)日本鳥類保護連盟	第2回「イヌワシ・クマタカ保護指針調査検討会」出席	日本林業技術協会	16. 5.26 ～ 5.28
工藤 琢磨	日本オオタカネットワーク	「オオタカ保護指針策定調査検討会」出席	日本林業技術協会	16. 5.27
駒木 貴彰	北海道水産林務部	平成16年度第1回新林業機械作業システム検討協議会 出席	道庁別館西棟	16. 6. 9
北村 系子	統計数理研究所	野外調査及び研究打合せ	北方性針広混交林調査地(北海道斜里町ウトロ)	16. 6.19 ～ 6.24
駒木 貴彰	(社)全国木材組合連合会	平成16年度第1回「木材製品自主表示検討委員会」出席	(社)全国木材組合連合会	16. 6.22 ～ 6.23
八巻 一成	北電総合設計(株)	大雪山国立公園における登山道の管理水準検討調査検討会打合せ会議 出席	北電興業ビル	16. 6.28
佐山 勝彦	林業・木材製造業労働災害防止協会	蜂等対策推進啓発普及講習会講師	サン・リフレ函館	16. 7.20 ～ 7.21
八巻 一成	北電総合設計(株)	大雪山国立公園における登山道の管理水準検討調査検討会 出席	北電興業ビル	16. 7.28
松岡 茂	北海道環境審議会自然環境部会事務局	平成16年度北海道環境審議会自然環境部会(第1回) 出席	道庁別館	16. 7.29
駒木 貴彰	(社)全国木材組合連合会	平成16年度第2回「木材製品自主表示検討委員会」出席	(社)全国木材組合連合会	16. 8.25 ～ 8.26
北村 系子	(株)ドーコン	第51回日本生態学会 出席	釧路市国際観光交流センター	16. 8.26 ～ 8.29
八巻 一成	北電総合設計(株)	大雪山国立公園における登山道の管理水準検討調査検討会 出席	北海道経済センター	16. 8.30
鷹尾 元	県立淡路景観園芸学校	平成16年度景観園芸専門講座「最新緑化技術コース」(環境リモートセンシング入門)講師	兵庫県立大学神戸キャンパス	16. 9. 1 ～ 9. 3
八巻 一成	林業経済学会	林業経済学会理事会ならびに評議員会 出席	東京大学農学部	16. 9. 3 ～ 9. 4

氏名	依頼者	用務	用務先	日程
駒木 貴彰	北海道水産林務部	平成16年度森林生態系を重視した公共事業導入手法調査検討会(第1回)出席	道庁	16. 9. 22
石橋 聡	網走西部森林管理署	民有林・国有林森林施行技術交流会 特別講師	網走西部流域(生田原町)	16. 9. 29 ～10. 1
飯田 滋生	日本樹木医会北海道支部長	国際協力機構 森林造成技術者育成コース 講師	ホテルメッツ札幌	16. 10. 5
宇都木 玄	日本樹木医会北海道支部長	国際協力機構 森林造成技術者育成コース 講師	ホテルメッツ札幌	16. 10. 5
猪瀬 光雄	日本樹木医会北海道支部長	国際協力機構 森林造成技術者育成コース 講師	北海道支所	16. 10. 8
上田 明良	名古屋大学大学院生命農学研究科	獣害によって衰退した森林生態系における生物間相互作用ネットワークの構造と機能の現地調査	大台ヶ原原生林内調査地	16. 10. 12 ～10. 16
佐々木尚三	北海道立林業試験場	平成16年度新技術研究成果現地実証事業課題検討委員会(第1回)出席	北海道立林業試験場	16. 10. 28
尾崎 研一	京大大学生態学研究センター	ゴール昆虫の多様性に関する研究打合せ	生態学研究センター(大津市)	16. 11. 7 ～11. 9
八巻 一成	環境省自然環境局西北北海道地区自然保護事務所	大雪山国立公園における登山道の管理水準検討調査検討会第1回作業部会 出席	北電興業ビル	16. 11. 24
北村 系子	(株)ドーコン	ハンノキ調査のための現地調査	釧路市、釧路町、標茶町、鶴居村	16. 11. 24 ～11. 25
石橋 聡	(社)日本森林技術協会	雷別モデル事業検討会 出席	根釧西部森林管理署	16. 11. 25
丸山 温	(社)日本森林技術協会	雷別モデル事業検討会 出席	根釧西部森林管理署	16. 11. 25
北原 英治	(社)道路緑化保全協会	「東海北陸自動車道 清見～県境間 自然環境調査検討業務」幹事会 出席	日本道路公団中部支社	16. 11. 25 ～11. 26
北原 英治	(社)道路緑化保全協会	「東海北陸自動車道 清見～県境間 自然環境調査検討業務」幹事会 出席	飛騨・世界生活文化センター	16. 12. 1 ～12. 2
中井裕一郎	国立環境研究所	苫小牧フラックスリサーチサイト後継観測地選定に係る現地調査	富士吉田候補地、清里候補地、養老牛候補地、弟子屈候補地	16. 12. 3 ～12. 4
八巻 一成	北電総合設計(株)	大雪山国立公園における登山道の管理水準検討調査検討会 出席	北海道経済センター	16. 12. 6
佐々木尚三	北海道立林業試験場	平成16年度新技術研究成果現地実証事業課題検討委員会(現地検討会)出席	音更町一般民有林、音更町総合福祉センター	16. 12. 13 ～12. 14
猪瀬 光雄	上川中部森林管理署	森林施行技術交流会アドバイザー	上川中部森林管理署、外国樹種見本林	16. 12. 15

氏名	依頼者	用務	用務先	日程
駒木 貴彰	北海道水産林務部	平成16年度第2回新林業機械作業システム検討協議会 出席	道庁別館	16.12.21
鷹尾 元	東北大学東北アジア研究センター	国際会議 出席	東北大学東北アジア研究センター	17. 1.16 ～ 1.19
石橋 聡	(社)日本森林技術協会	雷別モデル事業検討会 出席	根釧西部森林管理署	17. 1.18
丸山 温	(社)日本森林技術協会	雷別モデル事業検討会 出席	根釧西部森林管理署	17. 1.18
北原 英治	(社)道路緑化保全協会	「第二東名高速道路 豊田東地区自然環境保全対策検討業務」委員会 出席	フォレストヒルズ	17. 1.19 ～ 1.20
小坂 肇	(社)日本森林技術協会	松くい虫被害新防除技術開発調査第2回委員会 出席	(社)日本森林技術協会	17. 1.25
駒木 貴彰	北海道水産林務部	平成16年度森林生態系を重視した公共事業導入手法調査検討会(第2回)出席	プレスト1.7	17. 2.18
北原 英治	(財)林政総合調査研究所	「野生鳥獣被害の軽減に資する新たな森林区分を踏まえた森林整備の手法に関する調査」第2回委員会 出席	文京シビックホール	17. 3. 4 ～ 3. 5
鷹尾 元	(社)日本森林技術協会	アジア東部地域森林動態把握システム整備事業平成16年度第3回調査等委員会 出席	(社)日本森林技術協会	17. 3. 4 ～ 3. 5
工藤 琢磨	日本オオタカネットワーク	「オオタカ保護指針策定調査検討会」出席	(社)日本森林技術協会	17. 3. 6 ～ 3. 7
尾崎 研一	京大大学生態学研究センター	ゴール昆虫の多様性に関する研究打合せ	生態学研究センター(大津市)	17. 3. 8 ～ 3. 9
松岡 茂	北海道環境審議会自然環境部会事務局	平成16年度北海道環境審議会自然環境部会(第2回) 出席	道庁別館	17. 3.30

4. 外国出張

派遣者	行 先	期 間	用 務	経費負担
中井裕一郎	ロシア	16. 5. 24 ～ 6. 24	「21世紀アジア」における二酸化炭素フラックス観測を開始し、伐倒調査打合せ	環境総合(21世紀アジア/立地)
坂本 泰明	アメリカ	16. 6. 12 ～ 6. 20	国際研究集会「IUFRO葉枯、胴・枝枯性病害に関する国際会議」参加のため	運営費交付金
八巻 一成	フィンランド	16. 6. 13 ～ 6. 22	国際研究集会「第2回レクリエーション及び保護地域における利用者の管理とモニタリングに関する国際研究集会」参加のため	運営費交付金
高橋 正義	フィンランド	16. 6. 13 ～ 6. 22	国際研究集会「第2回レクリエーション及び保護地域における利用者の管理とモニタリングに関する国際研究集会」参加のため	運営費交付金
北村 系子	ロシア	16. 7. 11 ～ 8. 10	「環オホーツク陸域における環境変動と森林動態の解明」に関する研究調査及び研究打合せ	北海道大学科研費補助金
中井裕一郎	ロシア	16. 7. 26 ～ 8. 10	環境研究総合推進費「21世紀の炭素管理に向けたアジア陸域生態系の総合的炭素収支研究」のためのフラックス観測、植生・土壌・地形調査	環境総合(21世紀アジア/立地)
宇都木 玄	オーストラリア	16. 8. 2 ～ 8. 9	「荒漠地を対象とした温湿効果ガス固定化技術の開発と評価」のための現地調査及び研究打合せ	環境総合(温室効果ガス/植生)
中井裕一郎	ロシア	16. 9. 7 ～ 9. 20	「21世紀アジア」における二酸化炭素フラックス観測、植生、土壌、地形調査等のため	環境総合(21世紀アジア/立地)
田中 永晴	インドネシア	16. 9. 8 ～10. 12	科研費「湿潤熱帯マメ科早生樹造林地帯における土壌酸性化メカニズム解明と発現予測」のための現地調査及び研究打合せ	京都大学大学院科研費補助金
石塚 成宏	フランス	16. 9. 13 ～ 9. 20	国際研究集会「地球及び地域的な変化のもとにおける森林土壌に関する国際会議」参加のため	運営費交付金
酒井 寿夫	フランス	16. 9. 13 ～ 9. 20	国際研究集会「地球及び地域的な変化のもとにおける森林土壌に関する国際会議」参加のため	運営費交付金
佐々木尚三	ウクライナ	16. 10. 3 ～10. 11	国際研究集会「林業工学：新しい技術と環境」参加のため	運営費交付金
志水 俊夫	韓国	16. 11. 1 ～11. 6	「森林と水に関するシンポジウム」出席	韓国山林科学院
石橋 聡	タイ	16. 12. 13 ～12. 23	植林適地等把握調査に係る現地調査	(財)国際緑化推進センター
上田 明良	インドネシア	16. 12. 18 ～17. 1. 8	「CDM植林が生物多様性に与える影響評価と予測技術の開発」のためのセミナー開催及びフィールドワーク	地球環境(CDM/海外)
宇都木 玄	オーストラリア	17. 2. 5 ～ 2. 10	「荒漠地を対象とした温室効果ガス固定化技術の開発と評価」のための研究打合せ	環境総合(温室効果ガス/植生)
鷹尾 元	インドネシア	17. 2. 12 ～ 2. 18	「森林の多様な環境ベネフィットの持続的活用に関する研究」に関する打合せ	海外経費

派遣者	行 先	期 間	用 務	経費負担
八巻 一成	イギリス	17. 2.14 ～ 2.28	「条件不利地域における自然エネルギー利用と安住条件の改善に関する国際的総合研究」に係るイギリスにおける自然資源の利用と地域管理の現状に関する調査及び資料収集	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター
河原 孝行	カナダ	17. 3.13 ～ 3.18	生物多様性条約にかかる森林の多様性専門家会合出席	林野庁

5. 職員の研修・講習

研 修 ・ 講 習 名	期 間	主 催	場 所	受 講 者
クレーン運転業務特別教育講習会	16. 5. 13 ～ 5. 14	(社) 日本クレーン 協会北海道支部	コベルコ建機 (株) 北海道教習センター	横濱 大輔 相澤 利和
危険物保安講習会	16. 6. 9	札幌危険物安全協議 会連合会	札幌サンプラザ	室谷 邦彦
育児休業・女子福祉制度研修会 健康安全管理担当者研修会	16. 6. 30	人事院 北海道事務局	札幌市 教育文化会館	宮下 博
管理監督者研修	16. 7. 26 ～ 7. 30	農林水産研修所	農林水産研修所	吉岡 章次
ボラー実技講習	16. 9. 7 ～ 9. 9	(社) 日本ボイラ協 会北海道支部	札幌総合卸センタ ー	佐藤 孝一 土谷 直輝
第30回北海道地区係長研修	16. 10. 4 ～ 10. 8	人事院北海道事務局	札幌第3合同庁舎	坂場 良
所内短期技術研修	16. 10. 4 ～ 10. 8	森林総合研究所	森林総合研究所	北村 兼三
平成16年度安全運転管理者講習会	16. 11. 4	(社) 北海道安全運 転管理者協議会	サッポロフローラ	高口 壽保
クレーン運転業務特別教育講習会	16. 11. 4 ～ 11. 5	(社) 日本クレーン 協会北海道支部	コベルコ建機 (株) 北海道教習センター	山野井克己
放射線安全管理講習会	16. 11. 30	(財) 原子力安全技 術センター	KKRホテル札幌	石塚 成宏
衛生管理者免許試験受験準備講習会	16. 11. 29 ～ 12. 1	(財) 北海道労働保 健管理協会	北海道トラック総 合研修センター	寺田 絵里 高橋あけみ
公務員倫理・セクシュアル・ハラス メントを考える特別研修会	16. 12. 3	人事院 北海道事務局	かでの2. 7	高口 壽保
特別管理産業廃棄物管理責任者講習 会	17. 1. 14	(財) 日本産業廃棄 物処理振興センター	北海道自治労会館	吉田 厚 宮下 博 矢野 夢和
平成16年度災害補償実務担当者研 修会	17. 2. 12	人事院北海道事務局	札幌市 教育文化会館	福田 智数
平成16年度防火管理研修会	17. 2. 18	札幌防火管理者協議 会連合会	市民会館	高口 壽保
平成16年度地域管理事務担当者研 修	17. 2. 22 ～ 2. 24	北海道統計・情報事 務所	札幌第1合同庁舎	福田 智数
伐木作業安全衛生特別教育講習会	17. 3. 2 ～ 3. 3	林業・木材製造労働 災害防止協会	江別市青年センター	石橋 聡 飛田 博順 酒井 佳美

研 修 ・ 講 習 名	期 間	主 催	場 所	受 講 者
英語研修	16. 6. 26 ～ 9. 4	北海道支所	ELSシ ^ャ パ ^ン (株)ラン ゲージセンター札幌校	酒井 佳美
	16. 6. 28 ～12. 22	北海道支所	(有)リトルウリー	阿部 真
	16. 7. 10 ～12. 22	北海道支所	(有)リトルウリー	石塚 成宏
	16. 8. 27 ～ 2. 25	北海道支所	ヘルリッツシ ^ャ パ ^ン (株) 札幌ランゲージセンター	石橋 靖幸
	16. 9. 1 ～12. 22	北海道支所	ヘルリッツシ ^ャ パ ^ン (株) 札幌ランゲージセンター	鈴木 覚
ドイツ語研修	16. 7. 6 ～ 3. 31	北海道支所	(株)NOVA札幌本校	八巻 一成

6. 研修生・研修員の受入

①受託研修生

氏名	所属	研修期間	研修内容	受入担当
近藤 圭	(株)セ・プラン 環境部	16. 4. 6 ～16. 5. 31	アイソザイム分析及びデータ解析の修得	森林育成研究 グループ
田中 格	山梨県森林総合研 究所	16. 6. 1 ～16. 8. 31	樹木の生理生態的特性の測定手法及び研 究計画設定手法の修得	植物土壌系研 究グループ
田畑 倫子	北海道大学大学院 農学研究科	16. 10. 4 ～16. 11. 30	ポプラのアロザイム解析手法の修得	森林育成研究 グループ
目谷 悠人	北海道東海大学工 学部生物工学科	16. 4. 12 ～17. 3. 1	電子伝達速度測定及び光量子収量の非破 壊的推定法とクロロフィル蛍光反応によ るクエンチング解析方法の修得	植物土壌系研 究グループ
森 洋佑	北海道大学大学院 地球環境科学研究 科	16. 5. 10 ～17. 3. 31	木本植物からのDNA抽出、SSR分析 と分析結果を解析する集団遺伝子学的方 法の修得	森林育成研究 グループ
北村 尚士	(有) エデュエンス・フ ィールド・プロダクションG IS研究室	16. 7. 1 ～17. 3. 31	マイクロサテライトマーカーの開発技 術、DNA塩基配列決定法、遺伝子型決 定法の修得	森林育成研究 グループ
星川 健史	名古屋大学大学院 生命農学研究科	16. 6. 14 ～17. 3. 31	木本植物からのDNA抽出、SSR分析 と分析結果を解析する集団遺伝子学的方 法の修得	森林育成研究 グループ
伊澤 岳師	北海道大学大学院 農学研究科	16. 7. 5 ～16. 12. 31	ポプラのアロザイム解析及びDNA解析 技術と解析法の修得	森林育成研究 グループ
近藤 圭	(株)セ・プラン 環境部	17. 1. 11 ～17. 4. 30	アイソザイム分析及びデータ解析の修得	森林育成研究 グループ

②所内短期技術研修生

氏名	所属	研修期間	研修内容	受入担当
佐々木達也	林業機械研究領域 造林機械研究室	16. 7. 5 ～16. 7. 9	トラクター集材が森林に与える影響の評 価方法	北方林管理研 究グループ
都築 伸行	四国支所 流域森林保全研究 グループ	16. 6. 29 ～16. 7. 2	森林所有権移動の実態に関する北海道と 四国の情報交換	北方林管理研 究グループ

7. 研究の連携・協力

①特別研究員（日本学術振興会）

氏名	受入期間	研究課題	受入担当
庄子 康	16. 4. 1 ～17. 3. 31	離散選択型モデルによるレクリエーション資源の環境評価と持続可能な利用モデルの構築	北方林管理研究グループ
香山 雅純	16. 4. 1 ～19. 3. 31	外生菌根菌の接種技術を応用した、酸性化した土壤に高い抵抗性を持つ針葉樹の開発	植物土壌系研究グループ

②非常勤特別研究員

氏名	受入期間	研究課題	受入担当
高木 義栄	16. 4. 1 ～20. 3. 31	環境省委託プロ「希少種であるオオタカの先行型保全手法に関する研究」	森林育成研究グループ

③研究員派遣受入

氏名	受入期間	研究課題	受入担当
堀江 玲子	17. 1. 10 ～17. 2. 26	環境省委託プロ「希少種であるオオタカの先行型保全手法に関する研究」	生物多様性チーム

8. 支所視察・見学・利用

来訪日	来訪者	人数	目的	担当氏名
4. 6	中国林学会	20	視察	志水俊夫 猪瀬光雄 佐々木克彦
4. 20	北海道森林ボランティア協会 中国撫順市市政府	4 7	中国撫順市で廃鉱跡地の大規模緑 化事業の推進に当たり、苗木づく りを北海道樹種にも拡大するかを 検討するため	連絡調整室
4. 28	(株) シルバークリエイト札幌	27	従業員のレクリエーション	〃
4. 27	札幌市立西岡小学校	64	総合的な学習「校区内にある施設 を知ることによって地域のよさをより深 く認識する」	〃
5. 11	スウェーデン農科大学教授	1	視察・講演	佐々木尚三
5. 11	札幌市立西岡南小学校	91	総合的な学習「森林を大切にしよ	連絡調整室
5. 11	NPO法人北海道たすけあいワ ーカーズ・ぼっけデイサービス「い きいき広場」	10	さくら見物を兼ねた見学	〃
5. 13	同上	10	同上	〃
5. 12 ～9. 30	北海道工業大学(10日間)	9	新型ハイパースペクトラルセンサー撮影実験の ため	鷹尾 元 連絡調整室
5. 14	豊平区老人大学創造学園25期 会	15	構内林道の散策	〃
6. 6	北海道自然保護連絡協議会	20	樹木・草本の観察	連絡調整室
6. 7	豊平区老人大学創造学園24期	25	研修	〃
6. 11	札幌市立西岡小学校	63	生活科で色々な植物や生物に親し んだり、草花で楽しく遊ぶ	〃
6. 17	札幌市立伏見中学校	14	総合学習(標本館)	〃
6. 26	福住さつき町内会子供会	50	子供会行事	〃
6. 29	札幌市立西岡小学校	90	生活科「自然のなぞを探そう」	〃
7. 7	北ぐにの森づくりサークル	4	エゾヤマザクラ種子採取(落下し た種子を拾う)	連絡調整室
7. 8	恵庭市立恵明中学校	4	総合学習「日本の森林破壊からお こる生物への影響」	松岡 茂 連絡調整室
7. 14	サークル1934クラブあつる け会	20	森林散策	〃
7. 29	名寄地区林業経営協議会	15	名寄地区林業経営協議会管外林業 地研修のため標本館及び樹木園見 学	連絡調整室
8. 4	マレーシア森林研究所長	1	視察	佐々木尚三 北原英治
8. 20	豊平区老人大学創造学園27期	40	見学	連絡調整室

来訪日	来 訪 者	人数	目 的	担当氏名
8. 22	北海道野の花を考える会	10	樹木の勉強会	連絡調整室
8. 26	北広島市立大曲中学校	3	総合学習「調べ学習」	〃
8. 26	北海道森林管理局研修所	16	Ⅱ種採用者研修「北海道の森林の特徴を学ぶ」	〃
8. 31	東京農業大学生物産業学部食品科学科	27	視察	〃
9. 1	ケニア国環境天然資源野生生物省 森林局長 他1（通訳）	2	国際協力機構招聘カウンターパート研修員	志水俊夫 北原英治 猪瀬光雄 北村兼三
9. 2	中国福建省森林科学院	1	視察・講演	猪瀬光雄 鷹尾 元
9. 23	岩手大学農学部農林環境科学科 森林科学講座	5	視察	連絡調整室
10. 6	別海町町議会議長 他	17	視察・研究内容と今後の研究の方向性調査	猪瀬光雄 北原英治
10. 8	林野庁森林技術総合研修所	18	海外技術研修「持続可能な森林経営の実践活動促進研修」	山口岳広
10. 8	(社)海外林業コンサルタント協会 JICA 集団研修員 他1	13	国際協力機構「森林造成技術者育成コース	猪瀬光雄
10. 10	西岡2区高台町内会	25	森林浴	連絡調整室
10. 12	三隅町林業研究グループ	12	森林・林業施業に係る知識及び技術向上のため（標本館・樹木園）	〃
10. 12	札幌市立西岡小学校	63	総合学習「森林総合研究所の探検」	〃
10. 15	福住保育園	64	遠足（標本館・樹木園）	〃
11. 4	札幌市立平岡緑中学校	3	総合学習「地球の森林の減少、温暖化対策、オゾン層破壊が生物や自然界に与える影響、メタンハイドレードについて」	丸山 温 石塚成宏

実験林の主な利用者

利用期間	利用者	人数	目的
16. 4. 5 ～17. 3. 31	北海道大学農学研究科	1	修士課程における研究（北海道に産するヤマナラシ類の分類学的再検討）に用いる試料（ヤマナラシ類の花、および葉）の採集
16. 4. 7 ～17. 3. 31	早坂理工株式会社	2	光量子センサーならびに太陽放射センサ（サブタワー上）のメンテナンス及びデータ回収
16. 4. 14 ～17. 3. 31	東京大学生産技術研究所安岡研究室	4	タワー観測を中心とした温帯域における生態系パラメタリゼーションの研究のため、衛星データを用いて広域の葉面積指数や光合成有効放射を推定する。その基礎資料を得るため、サブタワーにおいて樹木の反射スペクトル、波長別の太陽放射の直達成分と散乱成分を経時的に測定する。定期的にセンサーの点検、データの回収を行うため、サブタワーを利用する。
16. 4. 27 ～17. 3. 31	旭光通商株式会社	2	タワー観測を中心とした温帯域における生態系パラメタリゼーションの研究のため、衛星データを用いて広域の葉面積指数や光合成有効放射を推定する。その基礎資料を得るため、サブタワーにおいて樹木の反射スペクトル、波長別の太陽放射の直達成分と散乱成分を経時的に測定する。定期的にセンサーの点検、データの回収を行うため、サブタワーを利用する。
16. 6. 1 ～16. 11. 1	北海道自然写友会	4	樹、花、昆虫撮影
16. 6. 15 ～16. 6. 16	北海道森林ボランティア協会	15	掃除伐後の残存生立木の材積調査、20%程度の間伐
16. 7. 12 ～16. 7. 23	アジア航測株式会社	14	森林吸収源計測・活用体制整備強化事業、バイオマス調査
16. 7. 22 ～16. 7. 24	北海道森林ボランティア協会	15	掃除伐後の残存生立木の材積調査、20%程度の間伐
16. 8. 4 ～16. 9. 3	アジア航測株式会社	18	森林吸収源計測・活用体制整備強化事業、バイオマス調査
16. 8. 11	北海道森林ボランティア協会	15	掃除伐後の残存生立木の材積調査、20%程度の間伐
16. 8. 18	北海道森林ボランティア協会	15	掃除伐後の残存生立木の材積調査、20%程度の間伐
16. 9. 13 ～16. 10. 29	国際航業株式会社	10	「炭素吸収源計測・活用体制整備強化事業」に係る森林バイオマスデータ収集調査のため。トドマツ、エゾマツ人工林において地上部バイオマスを計測する。
16. 9. 28 ～16. 9. 29	北海道森林ボランティア協会	15	掃除伐後の残存生立木の材積調査、20%程度の間伐
16. 10. 5 ～16. 10. 8	エコ・ネットワーク	100	ウォーキング行事のため。北海道農業研究センター～森林総合研究所北海道支所～西岡公園

9. 広報活動

新聞・テレビ・ラジオ

内容等	対 応 者
一般公開 森林総研道支所が19日一般公開 16. 6. 11掲載 北海道林材新聞 19日に森林総研公開 16. 6. 17掲載 北海道新聞（朝刊） 森林総合研究所北海道支所一般公開 16. 6. 17掲載 毎日新聞（朝刊） 丸太切り楽しいね 森林総研一般公開 16. 6. 20掲載 北海道新聞（朝刊） 丸太じょうずに切れたよ 16. 6. 20掲載 朝日新聞（朝刊）	連絡調整室
野生動物 夜もパッチリ 札幌の平川さん 自動撮影装置開発 16. 4. 23掲載 北海道新聞（夕刊）	平川 浩文
森と私たち 第2部 緑を見つめる研究者(6) 16. 8. 9掲載 苫小牧民報	駒木 貴彰
わが街の博物館 森林総合研究所北海道支所標本館 樹木、はく製で森を再現 16. 9. 1掲載 北海道新聞（朝刊）	連絡調整室
スズメバチ被害が多発 10月中旬までは要注意 16. 9. 9掲載 民有林新聞社	佐山 勝彦
40メートル観測塔2基倒壊 札幌の森林総研 16. 9. 11掲載 北海道新聞（朝刊） 豊平の森林総合研究所 観測タワー倒壊 16. 9. 11掲載 読売新聞（朝刊） CO ₂ 観測タワー倒壊 羊ヶ丘 16. 9. 11掲載 毎日新聞（朝刊） 観測・実験タワー2基倒壊 札幌の森林総研 16. 9. 11掲載 朝日新聞（朝刊）	連絡調整室
おはようもぎたてラジオ便「北海道森林物語」 NHK札幌放送局 ラジオ第一放送	
16. 5. 5放送 樹木も病気になるーヤナギ水紋病を例としてー	坂本 泰明
16. 6. 2放送 入林の実態とその心得	高橋 正義
16. 6. 23放送 地球温暖化と森林土壌	石塚 成宏
16. 7. 7放送 山の自然を守るために	八巻 一成
16. 8. 11放送 シベリヤの森林火災	鷹尾 元
16. 10. 13放送 秋に緑の葉を落とすケヤマハンノキ	飛田 博順
16. 11. 10放送 倒木更新と森の移り変わり	阿部 真
16. 12. 1放送 枯木も山のにぎわい	酒井 佳美
17. 1. 5放送 森林の水消費量	北村 兼三
17. 2. 2放送 林業と森林の豊かな関係	佐々木尚三
17. 3. 2放送 生まれた場所で違うトドマツの性質ートドマツの山地試験についてー	松崎 智徳

内容等	対 応 者
NHKおはよう北海道 16. 6. 15放送 (一部編集して16. 7. 1に全国放送となった)	平川 浩文
北海道テレビ イチオシ! ローカルニュース内でスズメバチ特集 16. 9. 2放送	佐山 勝彦
S T Vテレビ局 どさんこサンデー 台風18号の影響が紅葉にはどうか 16. 10. 10放送	宇都木 玄

刊行物・広報誌等

誌名等	対 応 者
広報さっぽろ (豊平区版) 4月号 見て歩こう! とよひらの資料館 森林総合研究所北海道支所標本館紹介	連絡調整室
北海道ウォーカー 札幌紅葉スポット特集 (No. 21)	連絡調整室
平成16年度一般公開のお知らせ 北方林業 (Vol. 56 No. 6)	連絡調整室
平成17年度各種行事のお知らせ (研究成果発表会・一般公開・森林講座) 北方林業 (Vol. 57 No. 1)	連絡調整室
平成16年度研究成果発表会のお知らせ 北方林業 (Vol. 57 No. 2)	連絡調整室

一般公開

日時：平成16年6月19日（土） 午前10時～午後4時

天気：曇り

来場人数：271名

○公開内容

- I 森林総合研究所北海道支所の組織紹介
紹介ビデオを放映しました
- II 森林総合研究所北海道支所の研究紹介
北海道支所の最新の研究を、研究員が分かりやすく紹介し、質問に应答しました。
 - 生物多様性担当チームの研究紹介
 - 天然林択伐担当チームの研究紹介
 - 針葉樹長伐期担当チームの研究紹介
 - CO₂収支担当チームの研究紹介
 - 森林国際基準担当チームの研究紹介
 - 森林育成研究グループの研究紹介
 - 植物土壌系研究グループの研究紹介
 - 寒地環境保全研究グループの研究紹介
 - 森林生物研究グループの研究紹介
 - 北方林管理研究グループの研究紹介



III 催し物

緑の相談コーナー、実験林エコツアー、丸太切り体験、森林講座、ドングリを探せ、森の親子あてクイズ、二酸化炭素の循環、動物探査、本物はどれだ、顕微鏡をのぞいてみよう

IV プレゼント

苗木、年輪バッチ、小木片（端材）、マツボックリ

V アンケート

一般公開について、みなさまより多くのご意見ご感想を聞かせていただきました。

催し物のようす



実験林エコツアー



動物探査



丸太切り体験



顕微鏡をのぞいてみよう

森林講座

第1回（通算17回目）

日 時 平成16年 6月19日（土）
一般公開にあわせて開講
11:00～11:45
13:30～14:15

受講人数 39名
内容 木はどうやって伐りだされているか？
要旨 森林作業の実際、作業の機械化の現状と取り
組み、環境に優しい作業のあり方など、普段あまり目に触れることのない林業の仕事とその変わっていく様子を解説

北方林管理研究グループ 佐々木 尚三



第2回（通算18回目）

日 時 平成16年 7月23日（金）
15:00～17:00

受講人数 30名
内容 木はどうやって子供を残しているのか？
要旨 日本産絶滅危惧植物が近年注目されるようになった経緯や個々の植物がどんな危機に直面しているのか、また、保全のために考えられる対策について解説

森林育成研究グループ長 河原 孝行



第3回（通算19回目）

日 時 平成16年 8月 6日（金）
15:00～16:30

受講人数 19名
内容 北海道の森林土壌について
要旨 北海道など含め寒冷地に分布する森林土壌の断面の特徴や性質について解説

植物土壌系研究グループ 酒井 寿夫



第4回（通算20回目）

日 時 平成16年 8月20日（金）
15:00～16:30

受講人数 31名
内容 森林と水の関わり
要旨 森林における水の循環について解説

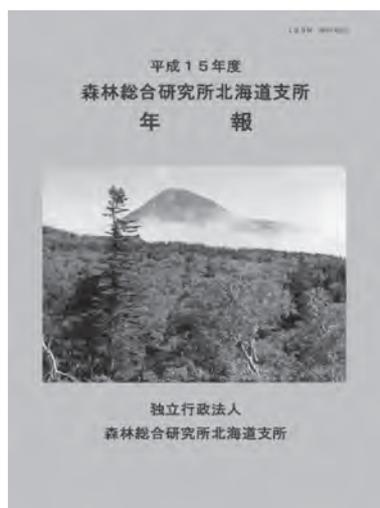
寒地環境保全研究グループ 北村 兼三



森林総合研究所北海道支所研究レポート

No.	タイトル	著者	印刷部数	当初配布部数	仕様
77	氷河期の生き残り：ヤチカンバ	永光 輝義	1,500	1,367	A4、4p、カラー
78	DNAを調べてわかること ー西日本のツキノワグマの歴史を探るー	石橋 靖幸	1,500	1,367	A4、6p、カラー
79	上から下から測ったシベリアのカラマツ	鷹尾 元	1,500	1,367	A4、6p、カラー
80	森林におけるCO ₂ 出入りの仕組みは複雑だ	宇都木 玄	1,500	1,367	A4、6p、モノクロ
81	トドマツの凍裂 ー北海道各地の出現状況についてー	松崎 智徳	1,500	1,367	A4、4p、カラー
82	長伐期化に対応したカラマツ人工林収穫予想表	石橋 聡 鷹尾 元 高橋 正通 猪瀬 光雄	1,500	1,367	A4、8p、モノクロ

平成15年度森林総合研究所北海道支所年報



印刷部数700部
 当初配布部数543部
 仕様：A4、113p、モノクロ（表紙、裏表紙のみカラー）
 目次
 I. 森林総合研究所研究課題一覧 1～13
 II. 北海道支所特掲課題一覧 14～16
 III. 試験研究の概要 17～40
 IV. 主要な研究成果 41～50
 V. 研究成果発表会報告 51～62
 VI. 研究資料 63～69
 VII. 研究業績 70～80
 VIII. 資料 81～107
 IX. 総務 108～113

標本館

来館者数

(人)

区分 月	一般	学 生				国	都道 府県	林業 団体	外国	計
		小学生	中学生	高校生	大学生					
4月	200	183	9	3				20	415	
5月	1,774	420	3		6			8	2,211	
6月	430	374	16						820	
7月	263	198	5				17		483	
8月	259	109	6		23	17			414	
9月	307	276	2		6			2	593	
10月	310	53				10	12	17	31	433
11月										0
12月						3				3
1月										0
2月										0
3月										0
計	3,543	1,613	41	3	35	30	12	34	61	5,372

標本館の開館期間：平成16年4月10日～10月31日

主な見学者

月日	申 込 者	人数	目 的
4. 6	中国林学会	21	施設見学
4. 27	札幌市立西岡小学校	64	総合的な学習
5. 11	札幌市立西岡南小学校	91	総合的な学習
6. 11	札幌市立西岡小学校	63	総合的な学習
6. 17	札幌市立伏見中学校	14	総合的な学習
6. 29	札幌市立西岡小学校	90	自然体験学習
7. 7	北ぐにの森づくりサークル	4	エゾヤマザクラ種子採取
7. 8	恵庭市立恵明中学校	4	総合的な学習
7. 29	名寄地区林業経営協議会	15	名寄地区林業経営協議会管外研修
8. 26	北広島市立大曲中学校	3	総合的な学習
8. 26	北海道森林管理局研修所	40	II種採用者研修
8. 31	東京農業大学食品科学科	27	施設見学
9. 1	JICA筑波センター	2	支所表敬、視察
9. 23	岩手大学森林科学講座	5	森林総合科学研修
10. 6	別海町町議会	17	施設見学
10. 8	森林技術総合研修所	18	海外技術研修
10. 12	札幌市立西岡小学校	63	総合的な学習
11. 4	札幌市立平岡緑中学校	3	総合的な学習

標本館見学のようす



5月11日
札幌市立西岡南小学校



10月12日
札幌市立西岡小学校

10. 図書の収集・利用

収書数

	単行書			逐次刊行物			製本
	購入	寄贈	計	購入	寄贈	計	
和書(誌)	84冊	97冊	181冊	89種	435種	524種	24冊
洋書(誌)	25冊	5冊	30冊	57種	37種	94種	92冊
計	109冊	102冊	211冊	146種	472種	618種	116冊

利用

平成16年度における図書室の利用人数は北海道支所職員を除き延べ92名でした。

文献複写

	件数
森林総合研究所外への依頼	121件
森林総合研究所外からの依頼	295件

11. 固定試験地

整理番号	試験地名	研究項目	森林管理署	林小班	樹種	面積 ha	設定 年度	終了予 定年度	調査 年度	距離 km	担 当	区分
札幌 4	苫小牧植生調査試験地	林冠破壊による植生の変化 (風害後の遷移)	胆振東部	1301,い-3 1463,い	トドマツ アカエゾマツ エゾマツ ダケカンバ	1.67 18.74	S 3 2	H 2 0	不定期	97.6	森林育成研究 グループ	A
札幌 7	札幌カラマツ産地試験地	カラマツ産地試験	石狩	41,な・ね	カラマツ	5.84	S 3 4	H 2 2	不定期	28.9	森林育成研究 グループ	A
札幌 15	常盤トドマツ人工林収穫試験地	長伐期林情報の整備方式の開発	石狩	1139,は-2	トドマツ	0.90	S 3 6	H 1 8	10年毎	21.0	北方林管理研 究グループ	A
札幌 16	利根別トドマツ人工林収穫試験地	長伐期林情報の整備方式の開発	空知	41,は	トドマツ	0.90	S 3 6	H 3 3	10年毎	49.6	北方林管理研 究グループ	A
札幌 17	万字カラマツ人工林収穫試験地	長伐期林情報の整備方式の開発	空知	18,ろ	カラマツ	1.10	S 4 1	H 4 6	5年毎	75.1	北方林管理研 究グループ	A
札幌 32	ヤチダモ人工林の構造と生長試験地 (3)(4)	長伐期林情報の整備方式の開発の予測	石狩	41,は-20 33	ヤチダモ	1.14 1.13	S 3 0 S 2 5	H 2 7	5年毎	29.9	北方林管理研 究グループ	A
札幌 51	札幌トドマツ産地試験地	トドマツ産地試験	石狩	58,ぬ 64,た	トドマツ	3.94	S 4 2	H 2 9	不定期	39.4	森林育成研究 グループ	A
札幌 54	空沼天然林施業試験地(1)(2)	トドマツ・エゾマツ天然林の生長予測	石狩	1128,は い-1 と 1129,れ ほ へ	トドマツ エゾマツ 広葉樹	1.98 0.99	S 4 3 S 4 4	H 3 0	5年毎	24.6	北方林管理研 究グループ	A
札幌 61	苫小牧広葉樹試験地	落葉広葉樹林の更新	胆振東部	1205,い	広葉樹類	43.37	S 5 0	H 2 1	不定期	80.0	森林育成研究 グループ	A ¹
札幌 63	丸山ウダイカンバ生長量試験地	長伐期林情報の整備方式の開発	石狩	5273,に-1	ウダイカンバ	0.97	S 5 7	3~20	5年毎	56.0	北方林管理研 究グループ	A
道局 72	余別アカエゾマツ人工林収穫試験地	森林の構造と成長の関係解析に関する研究	石狩	3450,り	アカエゾマツ	4.08	H 1 3	定めず	5年毎		北方林管理研 究グループ	A
旭川 1	枝幸カラマツ産地試験地	カラマツ産地試験	枝幸事務所	6,い	カラマツ	5.00	S 3 4	H 2 2	不定期	403.9	森林育成研究 グループ	A
旭川 2	大雪植生調査試験地	林冠破壊による植生の変化 (風害後の遷移)	上川事務所	260,ろ 276,い 290,い・ろ 320,い・ろ	未立木	1.50	S 3 1	H 2 0	不定期	248.4	森林育成研究 グループ	A
旭川 3	林冠破壊による土壌の変化試験地	森林伐採に伴う接地環境変動と堆積腐食 分解との関係	上川事務所	260,ろ 276,い 290,い・ろ 320,い・ろ	未立木	1.50	S 3 1	H 2 0	不定期	248.4	C0 ₂ 収支担当 チーム	B
旭川 5	雄信内トドマツ人工林収穫試験地	長伐期林情報の整備方式の開発	留萌北部	50,い	トドマツ	0.56	S 3 8	H 2 7	10年毎	329.4	北方林管理研 究グループ	A
旭川 8	上川トドマツ産地試験地	トドマツ産地試験	上川事務所	141,い	トドマツ	4.47	S 4 2	H 2 9	不定期	201.4	森林育成研究 グループ	A
旭川 9	浜頓別トドマツ産地試験地	トドマツ産地試験	宗谷	1010, ろ・は	トドマツ	9.02	S 4 2	H 2 9	不定期	400.8	森林育成研究 グループ	A
旭川 11	大雪原生林植物群落保護林	原生林の更新動態	上川事務所	254 260	トドマツ アカエゾマツ エゾマツ	2.0	H 1 2	定めず	不定期	248.4	森林育成研究 グループ	A
旭川 12	士別天然林成長量固定試験地	トドマツ・エゾマツ天然林の成長予測	朝日事務所	397,い	トドマツ エゾマツ	3.26	H 1 3	定めず	5年毎		北方林管理研 究グループ	A
旭川 13	幾寅天然林成長量固定試験地	トドマツ・エゾマツ天然林の成長予測	上川南部	141,ろ	トドマツ エゾマツ	4.0	H 1 3	定めず	5年毎		北方林管理研 究グループ	A
北見 3	津内トドマツ人工林収穫試験地	長伐期林情報の整備方式の開発	佐呂間事務所	287,お	トドマツ	0.76	S 3 7	H 2 0	10年毎	343.8	北方林管理研 究グループ	A
北見 4	エゾマツ・トドマツ天然林固定標準地	林分成長量の推定及び予測手法に関する研究	網走中部	1041,い	エゾマツ トドマツ 広葉樹	1.96	S 3 3	定めず	5年毎		北方林管理研 究グループ	A
北見 6	丸瀬布カラマツ人工林収穫試験地	長伐期林情報の整備方式の開発	網走西部	1108,う	カラマツ	1.09	S 4 2	H 1 7	5年毎	266.5	北方林管理研 究グループ	A
北見 7	佐呂間トドマツ産地試験地	トドマツ産地試験	佐呂間事務所	90,む	トドマツ	4.53	S 4 2	H 2 9	不定期	335.4	森林育成研究 グループ	A
北見 8	津別天然林成長量固定試験地	トドマツ・エゾマツ天然林の成長予測	網走西部	205,ろ	トドマツ エゾマツ	2.08	H 1 5	定めず	5年毎		北方林管理研 究グループ	A
帯広 2	清水カラマツ産地試験地	カラマツ産地試験	十勝西部	15,い	カラマツ	4.67	S 3 5	H 2 3	不定期	240.9	森林育成研究 グループ	A
帯広 4	ベクレトドマツ人工林収穫試験地	長伐期林情報の整備方式の開発	弟子屈事務所	77,ろ	トドマツ	1.00	S 4 0	H 3 8	10年毎	482.3	北方林管理研 究グループ	A
帯広 9	根室トドマツ産地試験地	トドマツ産地試験	根釧東部	1024,い	トドマツ	4.32	S 4 4	H 2 9	不定期	500.0	森林育成研究 グループ	A
帯広 10	弟子屈天然林成長試験地	トドマツ・エゾマツ天然林の成長予測	根釧西部	47,い	トドマツ エゾマツ	8.00	H 1 5	H 3 4	5年毎		北方林管理研 究グループ	A
函館 4	ヨピラシトドマツ人工林収穫試験地	長伐期林情報の整備方式の開発	木古内事務所	141,な	トドマツ	1.05	S 3 9	H 3 9	10年毎	333.1	北方林管理研 究グループ	A
函館 8	函館トドマツ産地試験地	トドマツ産地試験	木古内事務所	2,130,へ と ち	トドマツ	4.43	S 4 2	H 2 9	不定期	319.3	森林育成研究 グループ	A

区分：A 森林総研主体、A¹ 森林総研・同局共同、B 同局から依頼

12. 羊ヶ丘の気象

試験研究の資料として、昭和48年から北海道支所羊ヶ丘観測露場において、気象観測を実施している。平成16年の気象概要は以下の通りである。

1. 気温、年間降水量、風速等に欠測値がある。9月8日の台風18号により、風倒木などの被害が発生した。10月～11月は観測機の故障のため欠測。
2. 1月から3月までの積雪は平年より多く、3月の最大積雪深は130cmで、4月20日に積雪ゼロとなった。初雪は11月16日で、前年より4日遅かった。

平成16年度の羊ヶ丘観測露場における観測値は、次表の通りである。

平成16年 気象年表

北緯 42度59分42秒
 東経 141度23分26秒
 標高 146.5m

気温 (°C)

月	平均	最高平均	最低平均	極値最高	起日時	極値最低	起日時
1	-5.3	1.8	-9.3	4.6	3 14:00	-16.2	11 2:00
2	-5.8	2.0	-10.0	2.5	20 13:00	-14.4	18 6:00
3	-1.5	2.4	-5.4	9.4	7 13:00	-11.7	4 2:00
4	4.8	11.3	-1.9	18.9	29 15:00	-4.0	3 6:00
5	12.2	18.6	6.2	25.9	27 15:00	2.9	2 4:00
6	16.6	20.8	12.8	28.6	14 13:00	5.6	16 4:00
7	19.5	25.8	13.8	31.3	31 13:00	6.9	2 4:00
8	19.9	25.9	15.4	31.0	9 11:00	9.8	26 5:00
9	16.2	20.6	13.6	25.6	1 13:00	7.5	15 5:00
10	—	—	—	—	— —	—	— —
11	—	—	—	—	— —	—	— —
12	-2.5	5.3	-9.5	8.5	3 14:00	-12.9	29 2:00
年							
29年間の平均と極値	7.3			35.7	1994/8/7 14:10	-22.8	1978/2/17 3:25

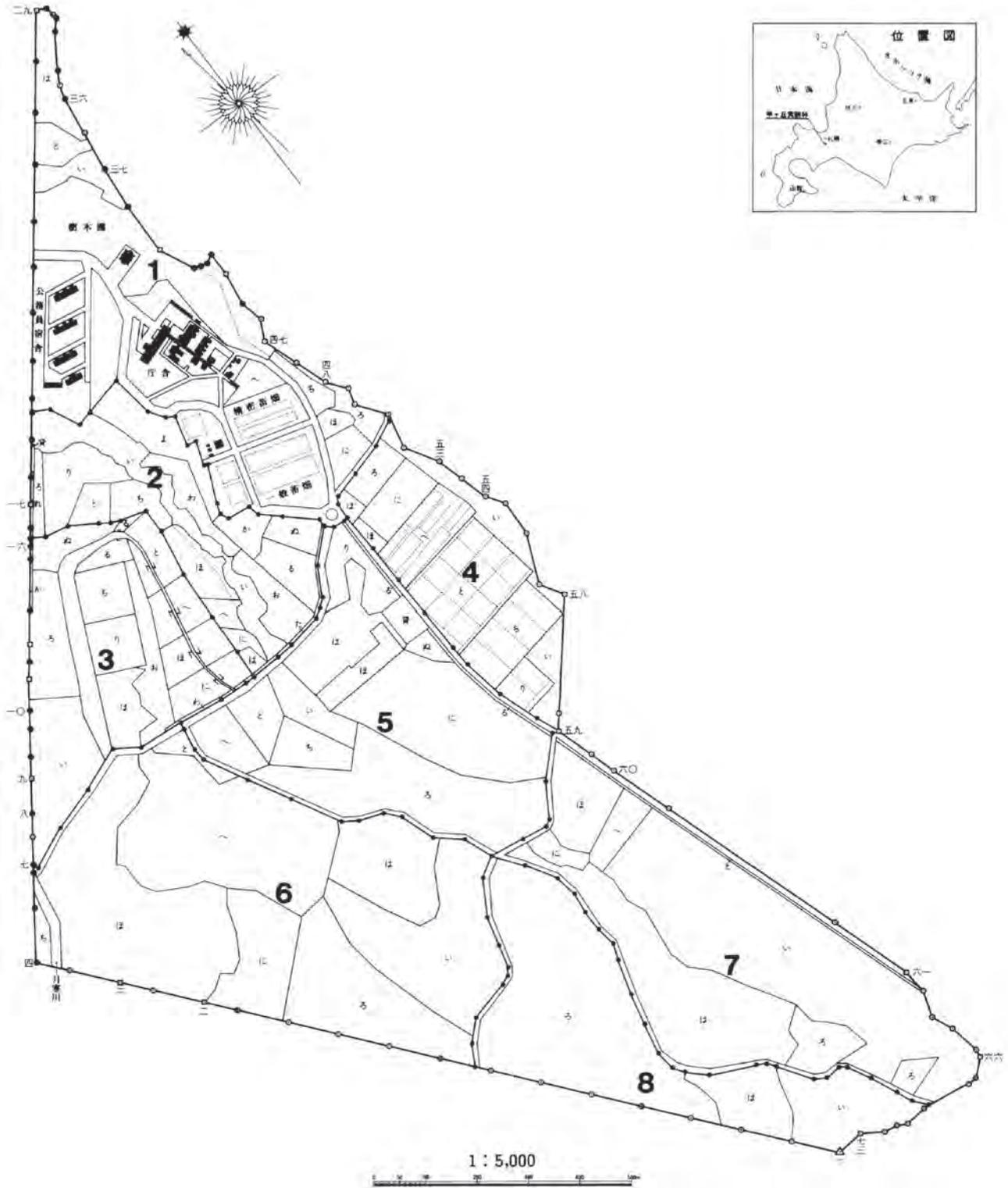
月	降水量 (mm)			積雪 (cm)			
	総量	最大日量	起日	最大1時間量	起日	最大積雪深	起日
1	50.0	13.0	22	2.5	22	117	25
2	46.5	11.5	20	2.0	20	128	24
3	68.5	15.0	29	5.5	29	130	14
4	19.0	7.5	2	1.0	28		
5	65.5	16.5	31	4.5	24		
6	45.5	23.0	30	6.0	30		
7	52.5	17.5	26	15.5	26		
8	129.0	75.0	20	14.0	20		
9	59.5	25.5	8	8.5	8		
10	—	—		—			
11	—	—		—		7	30
12	—	—		—		53	27
年						130	3/14
最大値の記録							
	年降水量	最大日降水量		最大1時間降水量		最大積雪深	
最大	1490.0('81)	220.5		51.0		136	
最小	580.5('84)	1981/ 8/23		1979/10/ 4 3:00		2000/ 2/25	

月	風速(m/sec)				湿度(%)					
	平均	最大	風向	起日	最大瞬間	風向	起日	平均	最小	起日
1	1.5	5.5	SSE	24	16.0	WSW	30	86.0	48.0	28
2	1.7	5.9	NW	23	16.6	NW	23	85.0	38.0	2
3	1.9	6.2	S	28	15.3	NW	25	80.0	31.0	8
4	2.2	10.7	S	9	17.3	SE	16	70.0	20.0	15
5	2.2	7.5	SE	3	18.1	SSE	4	78.0	17.0	1
6	1.6	6.6	SSE	21	18.3	SSW	22	81.0	17.0	3
7	3.4	5.7	SE	26	16.1	S	26	91.0	—	—
8	1.6	5.4	SSE	31	15.2	SSE	31	88.0	40.0	26
9	1.6	10.7	S	8	29.9	SSE	8	86.0	32.0	15
10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12	1.6	7.6	NW	17	22.5	NE	17	81.0	42.0	30
年										

13. 羊ヶ丘実験林の試験林一覧

No.	試験林名	試験項目	林班	樹種	年度	面積	担当グループ
1	針葉樹病害試験林	病害発生情報の収集・解析と突発性病害発生生態の解明	1-に	トマツ他	48	0.55	森林生物研究グループ
2	野鳥誘致林	キツツキ類の営巣穴の消失過程の解析及び動態把握	1-へ	ナカマツ他	48	0.62	森林生物研究グループ
3	特用樹試験林	成長調査	1-と	キサガ他	50	0.61	実験林室
4	針・広葉樹造成試験林	成長調査	1-ち	イチ他	H元	0.5	実験林室
5	群落構成試験林	北方系天然林における成長及び更新動態の長期モニタリング	2-は～よ	ハイマツ他	48	10.4	森林育成研究グループ
6	針葉樹人工林試験林	成長調査	3-に, 5-へ～ち, 5-ぬ, 6-と	グイマツ他	48	13.2	実験林室
7	針葉樹腐朽病害試験林	立木の腐朽・変色を起こす菌類の生態および宿主との相互作用の解明	3-ほ	カラマツ	H 3	0.97	森林生物研究グループ
8	広葉樹人工林試験林	成長調査	3-へ, 3-ち～る, 4-ろ, 5-り	ミスナラ	48	5.82	実験林室
9	広葉樹人工林試験林	北方林構成樹種の養分の配分・利用特性	3-と	ウダイカンバ	49	0.94	植物土壌系研究グループ
10	土壌環境長期モニタリング試験林	北方林の立地特性と物質循環モデル	4-へ	トマツ他	48	1.62	植物土壌系研究グループ
11	昆虫多様性試験林	昆虫発生情報の収集と解析	4-と	トマツ他	48	3.21	森林生物研究グループ
12	虫害解析試験林	昆虫発生情報の収集と解析	4-ち	トマツ他	48	2	森林生物研究グループ
13	生態遷移試験林	森林の更新を制御する因子としてのササの動態及びその被覆の影響の評価	5-ろ, 6-ろ, 6-ほ	ヤマナシ他	53	21.2	森林育成研究グループ
14	森林気象試験林	北方系落葉広葉樹林の二酸化炭素動態のモニタリング	5-ろ, 6-い～へ, 8-い～ろ	ヤマナシ他	H 6	57.1	寒地環境保全研究グループ
15	植栽密度試験林	密度管理技術に基づく長伐期林分の成長・収穫予測の高度化	5-に	アカエゾマツ他	48	5.77	北方林管理研究グループ
16	鳥獣生態調査試験林	キツツキ類の営巣穴の消失過程の解析及び動態把握	6-い, へ	シラカンバ他	H 5	15	森林生物研究グループ
17	広葉樹用材林施業試験林	天然林における択伐施業計画法の改善	6-は～に	シラカンバ他	53	6.31	北方林管理研究グループ
18	針広混交林造成試験林	樹種の環境適応性の生理的特性の解明と評価	7-い～ろ	シラカンバ他	50	15	植物土壌系研究グループ
19	ウダイカンバ植栽試験林	成長調査	8-は	ウダイカンバ	62	1.93	実験林室

羊ヶ丘実験林基本図



IX. 総務

1. 沿革

1908年（明41）	6月	北海道庁告示第361号によって、江別村大字野幌志文別に内務省野幌林業試験場が設立された。
1927年（昭2）	9月	庁舎を江別町西野幌に新築し、移転した。
1933年（昭8）	1月	北海道林業試験場と改められた。試験部（育林、利用、科学、保護、気象）、庶務部（庶務、会計、売買）。
1936年（昭11）	10月	木材利用部新設。森林標本館が設置される。 10.7 昭和天皇陛下行幸され、本場並びに付属試験林を見学された。
1937年（昭12）	10月	上川森林治水保安試験所が開設された。
1939年（昭14）	8月	釧路混牧林業試験所が開設された。
1940年（昭15）	1月	帝室林野局北海道林業試験場が札幌市豊平に設立された。
1945年（昭20）	8月	野幌試験林の管理経営を札幌営林署に移管。
1947年（昭22）	5月	林政統一により帝室林野局北海道林業試験場と北海道庁所管の北海道林業試験場を合併、林業試験場札幌支場と改められた。
1950年（昭25）	4月	上川、釧路両試験所が、それぞれ試験地と名称が変わる。
	7月	札幌営林局付属「森林有害動物調査所」が札幌支場の野鼠研究室になる。12月 木材利用部門は、本場に集中される。
1951年（昭26）	7月	支場を札幌市におき、分室を西野幌におく（経営部、造林部、保護部、庶務課）。
1953年（昭28）	10月	野幌の試験設備をすべて札幌市豊平に統合し、北海道支場と改めた。 野幌試験地が開設された。
1954年（昭29）		経営部に牧野研究室新設、調査室が庶務課から分離（昭22新設）、造林部種子研究室が育種研究室に名称変更。
1955年（昭30）		保護部病理昆虫研究室が昆虫、樹病研究室に分離増。
1961年（昭36）	5月	千歳国有林において植樹祭が行われる。昭和天皇・皇后陛下が支場に行幸された。
	11月	所期の目的が達せられたので、上川試験地は廃止された。
1965年（昭40）	4月	経営部牧野研究室が営農林牧野研究室に名称変更。
	9月	所期の目的が達せられたので、釧路試験地は廃止された。
1967年（昭42）	6月	会計課が新設された。
1968年（昭43）	10月	創立60周年となり、祝典を行う。
1969年（昭44）	4月	造林部造林研究室が造林第1、造林第2研究室に分離増。
1970年（昭45）	5月	経営部防災研究室が治山、防災研究室に分離増。
1972年（昭47）	5月	羊ヶ丘への移転計画で実験林設置が決定したため、組織上の野幌試験地は廃止された。
	5月	調査室から実験林室が分離増。
1974年（昭49）	10月	庁舎が札幌市豊平区豊平から同市豊平区羊ヶ丘へ移転し、施設の新築、整備が行われた。
1975年（昭50）	4月	保護部野鼠研究室が鳥獣研究室に名称変更。
1976年（昭51）	3月	羊ヶ丘における施設整備を完了した。
	5月	造林部の名称を育林部に変更。
1978年（昭53）	10月	創立70周年となり、一般公開及び祝典を行う。
1981年（昭56）	4月	育林部育種研究室が遺伝研究室に名称変更。
1988年（昭63）	10月	農林水産省組織規程の一部改正により森林総合研究所北海道支所に改組された。育林部造林第1研究室、造林第2研究室はそれぞれ樹木生理研究室、造林研究室となり、経営部経営研究室、営農林牧野研究室はそれぞれ天然林管理研究室、経営研究室となった。また経営部治山研究室と防災研究室は統合減となり、防災研究室となった。
	10月	創立80周年となり、記念植樹を行う。
1998年（平10）	10月	創立90周年となり、一般公開及び祝典を行う。
2001年（平13）	4月	独立行政法人森林総合研究所北海道支所となり、組織が変更となった。部制、会計課及び研究室が廃止され、研究調整官、地域研究官、庶務課長補佐、5チーム長、5研究グループ（森林育成・植物土壌系・寒地環境保全・森林生物・北方林管理）が新設された。

2. 土地・施設

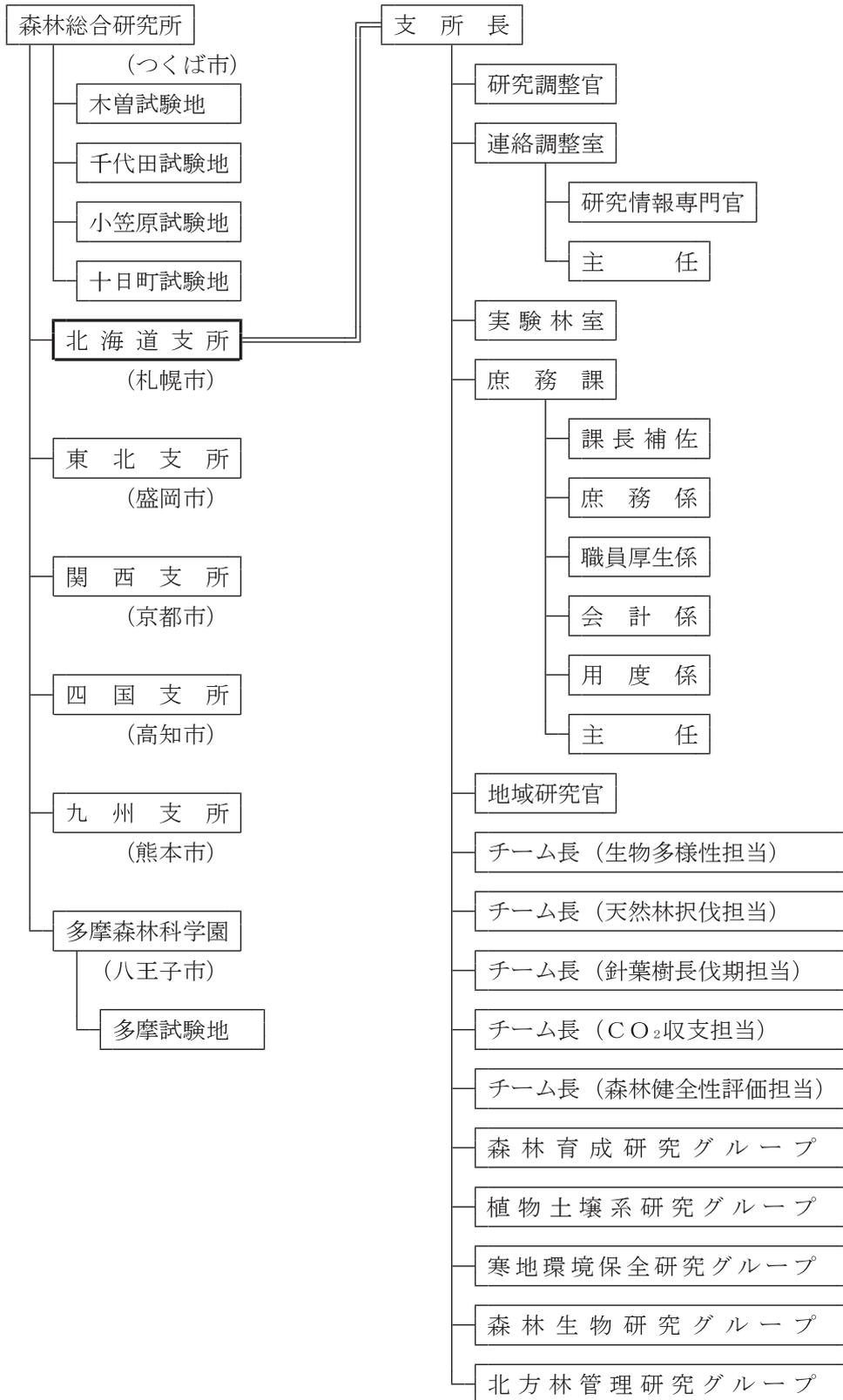
敷地・建物面積

(単位：㎡)

区 分	土 地 ・ 建 物		備 考
	構 造	面積 (㎡)	
土地		1,721,394	
建物敷地		5,425	
樹木園		62,900	
苗畑		38,590	
試験林ほか		1,614,479	
建物 (延)		8,211	
本館	RC-3	3,893	S49. 8.10建築
特殊実験室	RC-1	848	S48. 4. 1建築
生物環境調節実験棟	RC-1	377	S49.10.12建築
野兎生態実験室	RC-1	142	S48. 4. 1建築
鳥類屋外実験室	RC-1	56	S49.10.12建築
群落水耕温室	R -1	300	S49.10.12建築
樹病隔離温室	R -1	135	S49.10.12建築
育種温室	R -1	129	S49.10.12建築
苗畑調査実験室	RC-2	345	S48. 4. 1建築
鳥獣飼育場	RC-1	222	H15.12.18建築
標本館	RC-1	392	S49.10.12建築
その他		1,372	

3. 組織

平成17年 4月 1日現在



4. 平成16年4月2日から平成17年4月1日の異動

採用

発令月日	氏名	新所属	旧所属
17. 4. 1	松井 哲哉	北海道支所主任研究官	

再任用

発令月日	氏名	新所属	旧所属
17. 4. 1	横山 勝行	北海道支所実験林室付	

転入

発令月日	氏名	新所属	旧所属
16. 12. 1	小坂 肇	北海道支所主任研究官	本所森林微生物研究領域主任研究官
17. 1. 1	福田 智数	庶務課長補佐	四国支所庶務係長
17. 3. 31	後藤 正義	北海道支所付	林木育種センター北海道育種場 連絡調整課長
17. 4. 1	佐藤 正人	連絡調整室研究情報専門官	本所総務部職員課厚生係長
17. 4. 1	石塚 森吉	地域研究官	本所植物生態研究領域長
17. 4. 1	阪田 匡司	北海道支所主任研究官	本所立地環境研究領域主任研究官

転出

発令月日	氏名	新所属	旧所属
17. 1. 1	中田 賢二	本所総務部総務課長補佐	庶務課長補佐
17. 4. 1	坂場 良	本所企画調整部企画科調査係長	連絡調整室研究情報専門官
17. 4. 1	尾崎 研一	本所森林昆虫研究領域チーム長 (昆虫多様性担当)	チーム長 (生物多様性担当)
17. 4. 1	丸山 温	本所企画調整部企画科企画室長	植物土壌系研究グループ長
17. 4. 1	石塚 成宏	本所立地環境研究領域主任研究官	北海道支所主任研究官

配置換

発令月日	氏名	新所属	旧所属
17. 4. 1	相澤 利和	庶務課職員厚生係長	庶務課用度係長
17. 4. 1	横濱 大輔	庶務課会計係長	庶務課職員厚生係長
17. 4. 1	渡邊 謙一	庶務課用度係長	庶務課会計係長
17. 4. 1	矢野 夢和	庶務課 (職員厚生係)	庶務課 (用度係)
17. 4. 1	宮下 博	庶務課 (会計係)	庶務課 (職員厚生係)
17. 4. 1	土谷 直輝	庶務課 (用度係)	庶務課 (会計係)
17. 4. 1	上田 明良	チーム長 (生物多様性担当)	北海道支所主任研究官
17. 4. 1	宇都木 玄	チーム長 (CO ₂ 収支担当)	北海道支所主任研究官
17. 4. 1	田中 永晴	植物土壌系研究グループ長	チーム長 (CO ₂ 収支担当)

昇任

発令月日	氏名	新所属	旧所属
17. 4. 1	佐藤 孝一	庶務課主任（庶務係）	庶務課（庶務係）

退職等

発令月日	氏名	事項	所属
16. 12. 16	坂本 泰明	退職（死亡）	北海道支所主任研究官
17. 3. 31	猪瀬 光雄	定年退職	地域研究官
17. 3. 31	後藤 正義	辞職	北海道支所付

2006年 1月25日 印刷

2006年 1月25日 発行

平成16年度 森林総合研究所北海道支所年報

発行所 独立行政法人森林総合研究所北海道支所

〒062-8516 札幌市豊平区羊ヶ丘7番地

TEL(011)851-4131

FAX(011)851-4167

印刷所

URL <http://www.ffpri-hkd.affrc.go.jp/>

株式会社 アイワード

〒060-0033 札幌市中央区北3条東5丁目

5番地91

TEL(011)241-9341

FAX(011)207-6178

表紙写真 富良野岳北面1300m付近から見た十勝岳連峰
(2005年1月) 撮影/中井裕一郎